

文庫はいかにして形成されるか

——三島市郷土資料館蔵勝俣文庫の蔵書目録二点

勝 又 基

*キーワード

近世文学・蔵書形成・俳諧・実録体小説・三島市郷土資料館勝俣文庫

◆はじめに

三島市郷土資料館所蔵の勝俣文庫は、伊豆国佐野村（現静岡県三島市）の名主・勝俣家の蔵書である。その家系には明治期に全国的に知られた俳人・滝之本連水がおり、彼の蔵書としてよく知られてきた。連水については、この蔵書を用いて、はやく長谷川福太郎『岳南の俳諧人伊豆佐野の人は、この蔵書を用いて、はやく長谷川福太郎』がその俳業の全貌を明らかにし、森澤多美子「素描・滝の本連水——芭蕉を愛した明治俳人」（『江戸文学の冒険』（平成十九年三月 翰林書房））は、明治俳壇という視野から、その俳人像を描き直している。

蔵書の全貌については、『勝俣文庫目録』（昭和五十九年三月 三島市郷土館）によって整理されている。この目録を一見すれば分かる通り、勝俣文庫は俳人の文庫だからといって俳書ばかりが集まっている訳ではなく、バラエティーに富んでいる。井上泰至「写本軍書の機能」（『日本文学』平

成二十六年十月 日本文学協会）および同「蔵書調査から見えてくる文芸享受の風景——身分社会における自己存在証明の視点から」（『調査研究報告』三十五（平成二十七年三月 国文学研究資料館））は、実録体小説が多く所蔵されるという特色に注目し、「軍書のなかの、もっぱら娯楽の機能がこの階層には働いていたからと想像できる」とした。

こうした先行研究に加えて、本稿では、勝俣文庫を「文庫の形成史」という点で考え直したい。というのは、近年あらたに、幕末、維新直後、戦後と時代を異にする蔵書目録が三部確認されたからである。これら時代の異なる目録を比較することで、勝俣家の蔵書に、どのような本が、いつ加えられたか、という点が明らかになると考える。このことは、文庫の形成史という文化史研究テーマに、一つの有効な材料を与えてくれるだろう。

以下本稿は、勝俣文庫における三部の目録の概要を示して考察を加え、さらにその翻刻を付す。

◆蔵書目録の概要

①嘉永七年（一八五

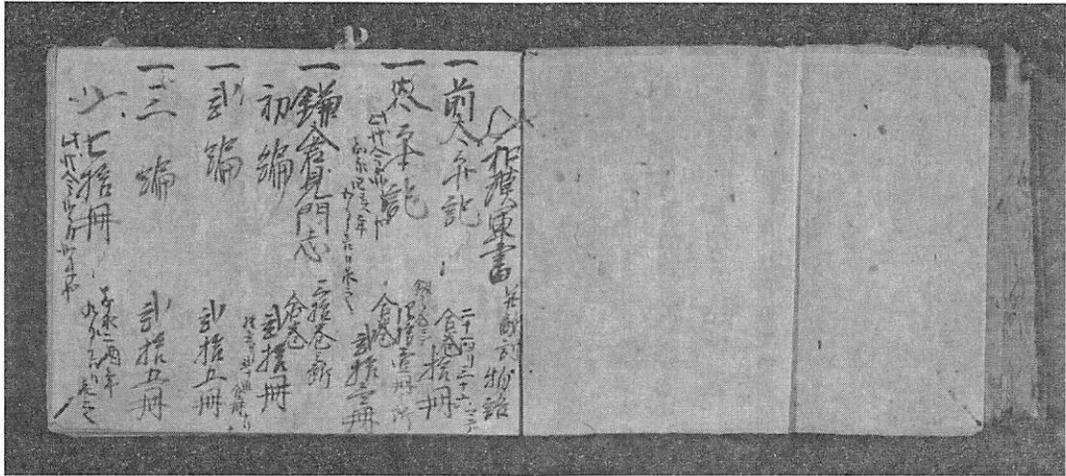
四）目録——父と連

水前半生の集書

【編者と成立年】

巻末に「嘉永七寅年／閏七月吉日改之／豆陽伊豆佐野村／滝の入／勝俣花岳山人「印」とある。ここから、編者が連水の父・常昭であること、嘉永七年（一八五四）に一旦完成したものだということが分かる。

常昭（直衛門・花岳・和水とも）は文化元年（一八〇四）生、安政六年（一八五九）四月十五日没、五十六才。この目録が一応の完成を見た嘉永七年（一八五四）の時点で、常昭は五十六歳（ちなみに連水は二十



三歳）、さらに、この目録を編んだ五年後の安政六年（一八五九）に、六十一歳で没している。つまり、連水の先代・常昭の晩年までの集書が記されていると見なすことができる。

ただし目録を見ると、各部の末尾に別筆で、嘉永七年以降に入手した書物が書き加えられている。もつと言えば、常昭没後に入手した書物も記されている。これらは、息子・連水の手によって書き加えられて行ったものだ、と考えて良いであろう。こうした、嘉永七年以降入手の書物が占める割合は、目録全体のほぼ半数におよぶ（その境目は見分けがたいが、安政の年号が記されているところが一つの目安になる）。

常昭と連水とで集書傾向に違いはあったかといえば、そうした傾向はあまり見出せない。それぞれのジャンルでまんべんなく買い足している、という印象である。

【全体と分類】

三百二十三点を掲載する。分類は内容別で、その細目は左の通りである。

- 1 和漢軍書并敵討物語（二十点）
- 2 俳書（五十九点）
- 3 歌書（四点）
- 4 諸家騒動并敵討端事（六十一点）
- 5 浄（二十五点）
- 6 常盤津（八点）
- 7 戯作（三十四点）
- 8 絵双紙（三十九点）
- 9 学書（四十二点）
- 10 軸物注文寛（五点）
- 11 色々伝授秘法之部（十八点）
- 12 密書之部（八点）

「4 諸家騒動并敵討端事」は、主に実録体小説を収める。「7 戯作」は『南総里見八犬伝』などの読本や『東海道中膝栗毛』などの滑稽本を収める。

「8 絵双紙」は合巻や地口、川柳、狂歌などを集める。例えば同じ馬琴の

作品でも、半紙本のもは「7戯作」に収められ、中本のもはこの「8
絵双紙」に収められている。書型が分類の基準になっているようだ。「11
色々伝授秘法之部」は、塵劫記や将棋本、占い本などが収められる。12「密
書之部」はおもに春本の類である。

【各条の記載】

各条、基本的に書名と冊数を記すのみである。ただし中には、購入年月
日と購入金額を記すものもある。こうした記載は、とくに嘉永七年以降に
書き加えられたものに多く見られる。嘉永七年の時点で、いまある蔵書を
整理し、そのあとは、入手した都度に書き込んだ、ということであろう。

【集書傾向】

割合を見ると、「2俳書」(五十九点、一八%)と「4諸家騒動并敵討端
事」(六十二点、一九%)が多いことが注目される。俳書と実録体小説、
という勝俣文庫の特色は、早くから形成されていたことが分かる。

俳書五十九点のうち、二十一点は常昭没後に書き込まれたものである。
常昭の俳諧趣味が、子の連水へと引き継がれたことが集書の様子からも見
て取れる。

三島市郷土資料館には浄瑠璃本が二十二点現蔵されているが、そのうち
の多く(十五点)が嘉永七年目録の時点ですでに掲載されている。浄瑠璃
本は常昭の趣味だったか。

【現存書物との比較】

「①嘉永七年目録」に掲載された三三三項目のうち、三島市郷土資料館
勝俣文庫で現存が確認できたのは、五割弱の一四五点にすぎなかった。散

った本がかなり多いということである。分類別に見ると、「1和漢軍書并
敵討物語」に残存が多い。この部の書物が比較的大切に扱われて来たこと
を示すのであろうか。いずれにせよ、「①嘉永七年目録」が、現状からは
窺い知れない勝俣文庫の過去の状態を考えるために有用な資料であるとい
うことが分かる。

「①嘉永七年目録」に掲載されている現存本を確認してみると、当然の
ことながら、目録の編者である常昭の識語を見出すことができた。具体的
には、12「雪明常盤松」識語(文政九年)、15「わかば帖」(天保三年写)、16
『俳諧手挑灯』(文政十年二月写)、17『義太夫奇本』(天保期識語)など
がそれである。また、常昭自身が筆写した書物もあった。たとえば18『肝
要工夫録』の識語には、「嘉永二年 勝俣政治郎写」とある。

②明治三年(一八七〇)目録——小説好き少年の集書

【編者と成立年】

表紙に「明治三庚午年／萬覚帳／豆州佐野村／勝俣清作書」とある。勝
俣清作は連水の長男である。安政二年(一八五五)生、明治八年(一八七
五)一月二十九日没、二十一歳。著書に敵討ものの実録体小説『敵討田前
豪傑伝』(明治四年(一八七一)成、勝俣文庫所蔵)がある。目録が編ま
れた明治三年の時点で、清作は十六歳であった。

【全体と分類】

二百九十点を掲載する。分類はされておらず、ほぼ入手した順に書き込
まれている。年次が分かるもので早いのは、2『古戦場蒼組討』の慶応三

年（一八六七）年、清作十三歳の時の集書である。それから222『二三復記』（明治七年（一八七四）十一月入手）までが清作生前の集書と考えられる。

そのあと「明治八乙亥年」「明治九丙子年」「明治十年丁丑年」「明治十二年」の項目が立てられているが、これは遺族（連水）による増補と考えて良いだろう。

【各条の記載】

書名、冊数のほか、購入年月日、購入先、代金を記す。たとえば、

94官許銅版／早字引集

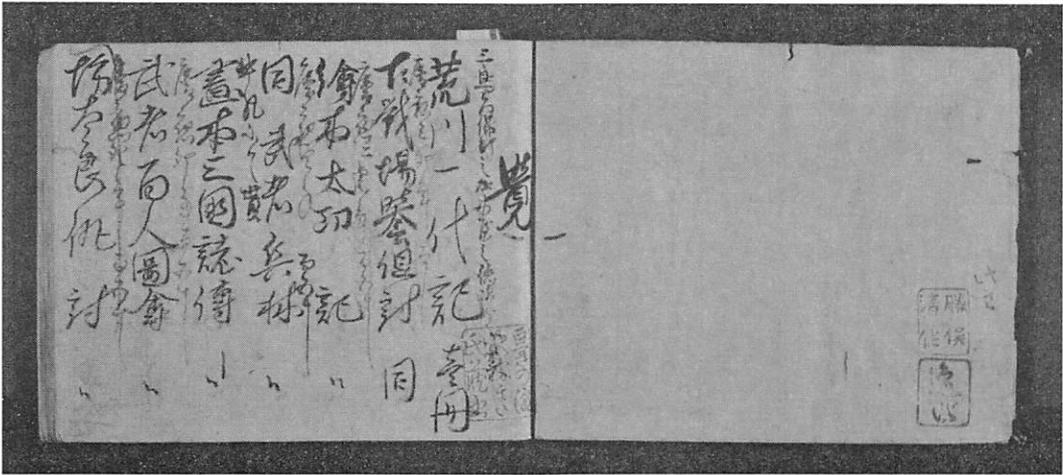
一名／御一新字引

巻冊

明治五申年二月十

五日三島市ヶ原堤

屋にて求



代金式分ト銭三百也

といった具合である。当時における書物の流通を知る上で有用な資料だろう。なお、三島に関する条を拾い上げてみると、次のようになる。

- ・堺屋（三島市ヶ原町）…多数。
- ・堤屋（三島市ヶ原町）…1本ほか多数。
- ・木長（三島久保町）…72' 73' 74' 75ほか多数。
- ・木屋（三島久保町）…63' 64'。木長のことか。
- ・常盤屋（？）…533
- ・香雲堂（本ヶ原？）…541
- ・関屋（？）…275' 276' 277
- ・本源（沼津）…10（此本安政七甲年又マツ貸本屋原助様へ下本二遣ス）
- ・擁萬堂（沼津）…575' 590
- ・本浦（沼津）…310' 206' 222' 234' 243' 251' 256' 257' 271' 272' 274。
- ・木瀬川（沼津）…580
- ・三島大社関連…99「明治三年十一月十八日三嶋明神之時求之」、75
- 「明治四辛未年四月廿四日明神（一文字不明）の時木長にて求」、134
- 「慶応元乙丑年四月吉日神宮（二）求」、206「同末ノ霜月廿日明神宮祭礼之せつ求」ほか。

【集書傾向】

目録を作成した清作は、かなりの小説好きであったらしい。みずからも実録体小説『敵討田前豪傑伝』を著している。彼の初期の集書は、実録体小説、合巻、読本の類が多くを占める。それが明治五年六月に入手した104

『御誓文／御宸翰』あたりからは、105『史略』、114『太政官日誌』などと真面目な本に変わって行く。明治五年で清作は十八歳。読書にも責任感が出てきたということであろうか。

その一方で、和歌・俳諧の類はほとんど見えない。これは本人の性向によるところとも考えられるし、祖父・父の蔵書で十分こと足りたからとも考えられる。

【現存書物との比較】

「①嘉永七年目録」と「②明治三年目録」との区別は、時代的な違いではないらしい。両目録では若干の例外を除いて、掲載する書物が重複しない。また、それぞれの目録に掲載された書物の入手時期を見ると、時代が重なっている。先にも述べた通り、「①嘉永七年目録」の「歌書」の部の末尾に記される「 手波波鏡」は、「右者清作成田山迄参詣之節 東京ヨリ求メキタル 明治七戌年四月」と注記があつて、明治三年目録よりあとに入手されたものであることが分かる。

では二つの目録はどのように使い分けられていたのか。それは所有者による違いではなかっただろうか。「①嘉永七年目録」は常昭・連水父子が集めた書物、「②明治三年目録」は清作が集めた書物、と考えると納得がゆく。

③昭和二十二年目録——連水後半生の集書の手がかり

【編者と成立年】

表紙に「昭和廿二年拾壹月／古和本／蔵書目録／勝侯家」と墨書。編者

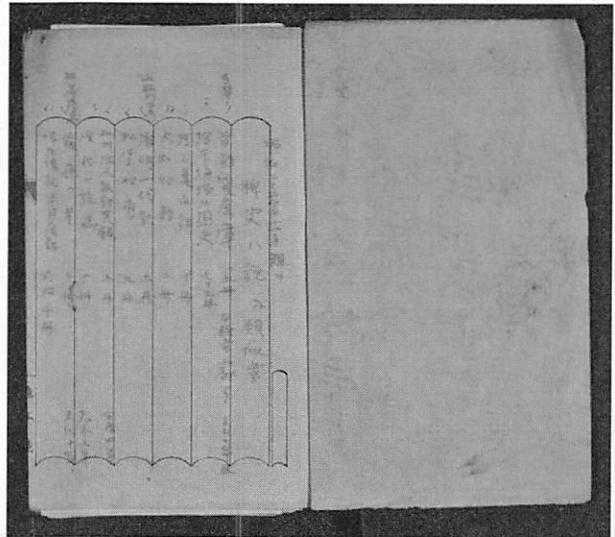
についての記載はないが、成立時期から考えて子孫の作と考えて間違い無いだろう。

【全体と分類】

八百五十一点を掲載する。分類は次のようなジャンル別である。

- 1 「稗史小説
- 外 類似書」(百三十二点)、2「随筆 外 類似書類」(百九十一点)、3「漢書 詩文 字典 類」(百八十八点)、4「歌 俳 国文 等」(百二十九点)、5「歌 雑書 数々」(七十二点)、6「書牘」(六十八点)、7「宗教 外 雑書」(七十一點)

このうち1「稗史小説 外 類似書」は、読本、合巻、実録体小説の類を収める。3「漢書 詩文 字典 類」は漢籍、辞書のほか『日本外史』『静岡県地誌』などの史書も収める。4「歌 俳 国文 等」と5「歌 雑書 数々」とは内容が重複する。6「書牘」は『雅言集覽』『倭訓栞』のような和語辞典などを収めるが、4、5と重複する部分も多い。



【各条の記載】

書名と冊数のみ。ほかに、家の中での配架場所を記すらしき記号が赤ペンで書き込まれている。

【集書傾向】

「①嘉永七年目録」「②明治三年目録」「③昭和二十二年目録」と比較してみると、その関係は左図のようになる。①②に掲載された書物があまり残っていないことも面白いが、本稿にとってより重要と思われるのは、①②の目録に掲載されていなかった書物が③に多く掲載されていることである。これは、明治三年以降にも、引き続き集書がなされていたということを示す。

そしてこの目録のみに見える書目は、すなわち連水の俳人としての最盛期に集められた書物を含む、ということになる。先にも述べた通り、「①嘉永七年目録」は常昭の目録を子・連水が書き足したものだ、その増補は明治十二年までで終わっている。連水はその後明治三十一年（一八九八）に、六十七歳で没するまで活動する。つまり「③昭和二十二年目録」から「①嘉永七年目録」、「②明治三年目録」（先述の通り明治十二年までの集書を記す）を引いた残りが、連水が後半生に集めた書物プラス子孫が集めた書物、ということになる。

ここで連水の俳人としての時間軸について、先述の森澤稿をもとに眺めてみよう。天保三年（一八三二）に誕生した連水は、弘化元年（一八四四）、十二歳ごろには俳諧を嗜むようになった。安政五年（一八五八）、二十七歳で家業を継ぐようになった。明治元年（一八六八）には沼津の俳人・種

玉庵連山から梅室書「俳関」の変額を譲り受け、明治二年（一八六九）には『俳家新聞誌』に所持する「鉢たたき」芭蕉翁自画讃を紹介した。明治

七年（一八七四）、四

十三歳の時に俳諧教

林盟社の社員となり、

俳諧を通じての教導

にも力を入れるよう

になる。明治二十六

年、六十二歳の時に

は富士山を詠んだ句

を集めた自撰歌集『雲

霧集』を出版する。

明治三十一年（一八

九八）に、六十七歳

で没するまで、旺盛

に活動した。とくに

明治二十年代には、

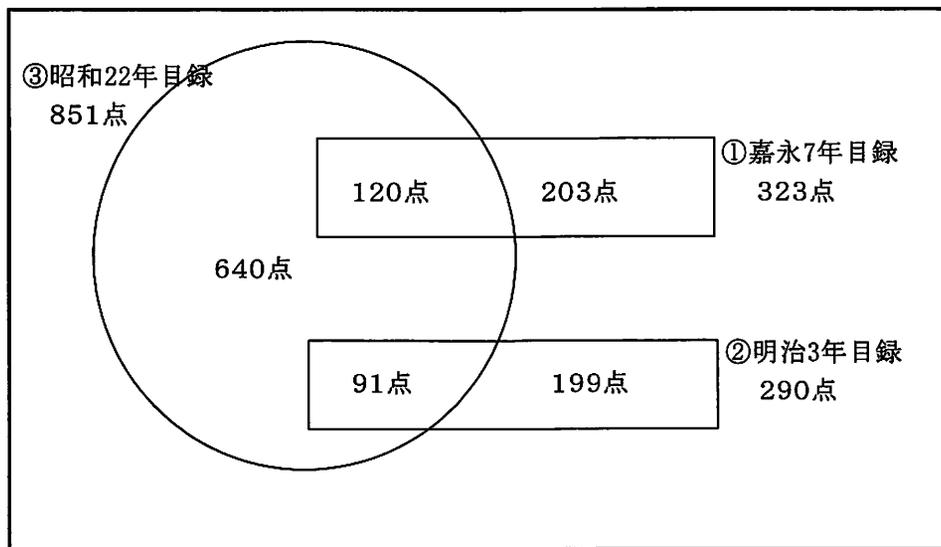
俳人として全国的な

名声を誇っていた。

では、連水の後半

生から没後にかけて

の勝俣家の集書には、



どのような傾向が見出されるだろうか。まず全体を眺めて気づかされるのが、この時期に購入した書物の割合の多さである。全八三一点のうち、約四分の三にあたる六三三点が、嘉永七年目録、明治三年目録に見えず、明治十三年以降に入手したものだということになる。勝俣文庫の和本群の多くは、明治期以降に集められていたのであった。

新たに集められた書物を分類別に確認してみよう。「書牘」の部（九四％。六十四／六十八点）は、そのほとんどが新たに入手した書物だと分かる。ほかに「歌。俳。国文。等」の部（八八％。百十三／百二十九点）、「歌。雑書。数々」の部（八九％。六十四／七十二点）、「宗教。外。雑書」の部（八七％。六十二／七十一点）に属する書物は、この時期に多くが購入されている。俳人として、教導職として充実が求められたことは想像に難くない。また、蔵書に見える明治期俳書の中には、他人の編著でありながら、連水の句が入集しているものが多い。これらは連水が投句料を納めて掲載されたものである。連水が俳諧の全国的なネットワークの中で活躍する過程で、自然に集まって来たのがこうした俳書たちであったはずだ。いっぽうで、あまり増加していない、つまりさほど購入しなくなったジャンルもある。まず典型的なのが、「稗史小説。外類似書」の部（四二％。五十六／百三十二点）である。この部に属する実録体小説、読本の類は、そもそも連水ではなく子の清作が積極的に買い求めていた書物であった。そうした個人的な性向の違いもあり、また年齢的な推移もあったのではなからうか。また「漢書。詩文。字典。類」の部（七二％。百三十六／百八十八点）も、先の小説類ほどではないが、比較的新規購入が少ない書物で

ある。この部の書物は必要がなくなった、というよりは、当初から勝俣家に基本的な書物が備わっていた、という理由が大きいように思う。

付記 本発表は、文学研究資料館基幹研究「近世における蔵書形成と文芸享受」研究会（平成二十三年十二月十七日（土） 於国文学研究資料館オリエンテーション室）における口頭発表「勝俣文庫の蔵書目録」にもとづくものである。

（二） 目録翻刻

凡例

- ・ 旧字体、異体字は適宜通行自体に改めた箇所がある。
- ・ 各種の踊り字は適宜開いた箇所がある。濁点は適宜補った箇所がある。
- ・ 角書などの二行書はそのまま記さず、改行箇所に／を入れることで記した。
- ・ 項目中の改行は、必ずしも忠実に再現していない。一行空けに代えたところもある。
- ・ へくは翻刻者による注記である。
- ・ ルビは（ ）に記した。ただし32' 55' 136' 620' 697' 698' 775' 783のカッコは原文に存するものである。
- ・ 古典籍総合目録データベースなどで検索すると、明らかな文字の間違いが判明する。例えば34「寛（政）箱崎文庫」。こうした場合、現状を優先させた。

・③昭和二十二年目録は、各条の上に赤ペンで「東側」「は」などと記した書き込みがある。架番号を示したものと思われるが、省略した。

・◇印を冠したのは現存本で確認できない書物である。また、③「昭和二十二年目録」のみ、「①嘉永七年目録」にも見える書物に「嘉」の記号を、「②明治三年目録」にも見える書物に「明」の記号を冠した。どちらにも見えない書物には◆印を冠した。

・ただし、右の同定調査は完璧なものではないことをお断りしておく。現存本の調査も未完成であり、①②③目録の記述も、同定を妨げる不確定要素が多いからである。たとえば書名を忠実に写したものでない場合がまま見られ、同書名でも買い直しなどによって別本だということも考えられる。よってあくまでも、目録と現存本との関係を考えるための参考として扱っていただければ幸いである。

①嘉永七年目録

（表紙に書付なし）

和漢軍書 并敵討物語

「前太平記 二十一ヨリ三十六マデ 合巻拾冊

「前太平記 劍之巻マデ 四拾巻冊之所 合巻式拾巻冊

此代金式分也

嘉永四亥年五月六日求之

鎌倉見門志

初編 三拾巻之所／合巻／式拾冊／拾巻ヨリ式十まで合冊ナリ

式編 式拾五冊

三編 式拾五冊

七拾冊 嘉永二酉歳九月吉日求之

此代金式分式朱也

頼光一代記 三拾冊之所／合巻／拾冊

曾我物語

此代金老分也

内なしまけ

嘉永四亥年八月吉日求之

関東古戦録 拾冊

此代金老分二朱ト銀老奴五分

嘉永三戌年八月吉日求之

絵本義経一代記 五冊

8 眞書太閤記

初編 三拾冊之所／合卷／拾冊

式編 式拾九冊／三四合冊ナリ

三編 拾五冊

四編 三拾冊

五編 三拾冊

六編 三拾冊

七編 三拾冊

八編 三拾冊之所／合卷／拾五冊

九編 同／拾五冊

拾編 三拾冊

拾壹編 三拾冊

拾貳編 三拾冊之所／合卷／拾冊

ノ三百六拾冊 全

弘化四巳年／二月吉日求之

此代金四兩毫分ト六百八十四也

9 厭蝕太平樂記 三拾冊之所／合卷／拾五冊

10 殘太平記 銀八匁ニ下ル 拾貳冊

金貳朱四百七十也

此本安政七申年

正月ヌマツ貸本屋原助様へ下本ニ遣ス

11 豊臣鎮西軍記 拾五冊

此代金壹分貳朱ト〇六百四 弘化四未年三月吉日求之

12 繪本通俗三國志

初編 拾冊

貳編 拾冊

三編 拾冊

四編 拾冊

五編 拾冊

六編 拾冊

七編 拾冊

八編 五冊

ノ七拾五冊

嘉永七寅とし

正月求之

代金貳兩貳分也

13 天草軍記大全 貳拾參卷之所／合卷／七冊

14 関ヶ原軍記大全 全本／三拾貳卷

15 真田三代表記

初編 三拾冊之所／合卷／拾五冊

貳編 三拾冊

三編 三拾冊

四編 合卷／拾五冊

五編 同／拾五冊

ノ百五拾冊之所／合卷ニシテ百五冊全本

安政三辰年七月求之

代金壹兩壹分也

16 嶋津琉球軍精記 廿七冊之所／合卷／六冊全

同年十二月吉日求

◇17 増補 和漢軍談紀略考大成 小本壹冊

安政七庚申年正月二日求

代三冊

18 本願寺大秘録 石山軍記 三十冊

同後編 三十冊之所／合卷／十五冊

同申年五月十五日二求

代金貳分貳朱成

19 朝鮮物語 二冊

文久元酉年九月吉日求

代銀六分也

20 朝鮮征伐記 四拾貳冊

元治元甲子年六月吉日求之

ノ金壹兩壹朱也

貳百（數文字不明）

俳書

21 俳諧七部集 七冊

22 あすならふ 貳冊

23 おだまき綱目 貳冊

◇24 くらいちい 壹冊

25 蕉門秘伝 葛藤集 老冊

◇26 俳諧論語集以呂波伝大和言 三色合卷 老冊

◇27 諸催主諸判者 四季之出板写本 小本四冊

◇28 するか舞 壹冊

◇29 葛才扇 壹冊

◇30 春と秋 壹冊

◇31 俳諧うたまくら 壹冊

◇32 俳諧苔の華 壹冊

33 俳諧初心抄 壹冊

◇34 芭蕉翁発句集 上下貳冊

◇35 波羅蜜口占 壹冊

◇36 星喜庵北因先生 春帖 壹冊

◇37 同 壹冊

◇38 大白堂孤月先生 同 壹冊

◇39 北元句集 壹冊

40 わかは帖 壹冊

41 故人五百題 貳冊

42 今人五百題 貳冊

◇43 諸催主諸判者 四季之出板 六冊

44 今人 俳諧図会 初編壹冊

45 俳諧 手挑灯 貳冊

46 諸催主諸判者 四季之出板写本 壹冊

◇47 月花鳥 壹冊

48 名所発句集 二篇壹冊

65 屏風形面頌 老冊

代五百也

66 御くりや集 老冊

60 今人五百題 水壺撰式冊

67 俳諧 百人一首見立函会 老冊

61 俳諧 安政五百題 代金老朱 俳禅居墨芳撰式冊

68 たんかしう 合巻老冊

安政六未年十一月酉の市祭礼之節求

69 歳旦帖 老冊

62 俳集良材集 水壺撰春之部式冊

70 壬生山家集 老冊

同日求代金老朱

71 伊豆拾二歌仙附録 老冊

63 掌中 俳諧安政附合集 老冊全

同年十二月三日求

72 俳諧線衣 一

代銀四匁五分

為誰菴由誓閑

栢隠新甫撰

米仏芭磨校

73 哥道まさきのかつら 端本第五老冊

嘉永六丑とし正月日

74 寛保四甲子歳旦 老冊

〈三文字不明〉

75 俳諧今七部集 小本式冊

64 木の葉籠 小本老冊

安政三辰年卯月吉日求

代式百九十式也

89 俳林良材集 夏秋冬六冊

万延元申年十一月求

代金三朱也

◇71 さゝれ貝 懷中本老冊

文久三亥年霜月吉日求之

代金式朱也

90 俳諧歲時記葉草 五冊

万延元申年

十一月吉日求之

代金壹分二朱也

72 俳諧一葉集 九冊

慶応三卯年三月吉日

代金壹朱也

91 今人附合集 貳冊

万延元酉年六月比求

73 芳草集

同年同月

代金三朱卜三四十八也

92 海内人名録 貳冊

同年同月同日求之

74 俳諧秘伝白砂人集 一冊

并二七部冬之日莊丹ノ書ニ而註解一冊

93 鶉衣 六冊

文久元酉年九月吉日求

代金式朱也

代金壹朱也

75 俳諧一串抄 壹冊

同年同月

◇94 千式百題集 貳冊

文久三亥年四月吉日求

代銀七匁五分

代金式朱卜式百四十八也

◇76 俳諧玉葉集 老冊

◇77俳諧七部集 薄葉摺小本壹冊

78四季之持扇 薄葉摺一冊

79蕉門中興 俳諧一覽集 一冊

歌書

◇80園圃拔菜 貳冊

代金

81消息文例 貳冊

代金

82言葉玉の緒 七冊

代金

◇83手尔波紐鏡 折本

代

右者清作成田山迄參詣之節東京ヨリ求メキタル 明治七戌年四月

諸家騷動 并敵討端事

84赤穂精儀内侍所 二十四冊之所合卷拾貳冊

85繪本忠臣蔵 前編拾冊

同後編 拾冊

此代金二朱卜四百七十式也

86賊禁秘誠談 拾冊之所合卷五冊

87大久保武蔵燈 三十冊之所合卷拾五冊

◇88慶安賊説弁 拾冊之所合卷八冊

此代金貳朱也

嘉永二酉年十月吉日求之

◇89祐天功德記 九冊之所合卷五冊

◇90伊賀越敵討 三冊

91但石実記 三十冊

安政六丑年四月求

此代金貳分ト三匁

92 和州非人敵討 五冊

同西遊記 五冊

同後編 五冊

93 一休はなし 三冊

此代金式朱卜五百八十三也

嘉永五子年十二月吉辰求之

94 棧橋物語 五冊之所壹冊

103 松田氏女敵討 老冊

95 宗祇怪談 壹冊

104 中山東物語 合冊老冊

◇96 仮名性理 壹冊

◇105 敵討江戸紫 拾冊之所合卷老冊

97 肝要工夫録 壹冊

◇106 安明間記 三冊

98 八百屋お七実録 貳冊

◇107 不知翁の物語 老冊

◇99 麻布忠誠録 壹冊

◇108 熱海 温泉図彙 老冊

100 中山東物語 貳冊之所合卷壹冊

◇109 豆三嶋伝記 老冊

◇101 大岡忠相政要実録 八冊之所合卷老冊

110 繪本年代一覽 小本老冊

102 諸国ノ奇談 東遊記

同後編 五冊

◇11 絵入笠松〈虫損〉 同老冊全

112 絵入三庄大夫 同巻冊全

113 同宮本武勇伝 同式冊全

114 奥平報警宇都之宮金の清水 写本五冊全

安政二卯年十月日求 代三百三十也

◇115 切支丹来朝実記 巻冊

安政三辰年 十二月求

116 万国新話 五冊

安政四巳年五月求

117 皿屋敷殿秘録 全本拾五冊

安政六未ノ年十一月酉之市之(ニ文字不明)求

中本共代金三朱

◇118 慶天間記 全本廿五冊

安政七庚申年ノ二月吉日求

銀(数文字不明)文久元年酉歳九月下本ニ遺ス

同年同月

代金巻分卜銀式分

120 安政見聞志 三冊

同年閏三月日

代金巻朱

121 武家女鑑 六冊

万延元申年八月一日求

代金錢五百也

◇122 後藤英勇伝 三十冊

万延元申年十二月吉日求之

代金三朱下本年ニ致スノ百也

123 奇説著聞集 式冊

文久元酉年九月吉日求

代三百也

124 下村実記 拾冊

文久元酉年九月吉日求

代銀五分也

119 安政見聞志 同三冊

125 北野実記 廿五冊

同年同月求

代銀廿五分也

代銀七匁

131 同 積翠閑話 四冊

文久三亥年四月吉日求

代銀七匁五分

126 安政見聞録 全部／三冊

同年同月求

代金老朱

132 扶桑皇統記 拾貳冊

同年同月同日

代銀四拾五匁

127 源氏一統志 拾冊

文久二戌年四月吉日求

代錢六百也

133 嘉多比沙志 前三冊／後三冊

元治元子年六月吉日求之

代金老分也

128 慶安前秘録 拾貳冊

文久二戌年閏八月吉日求

代銀六匁

134 武辺話聞書 三冊

慶応元乙丑年

四月吉日神宮にて求

代金三朱也

129 岩城実記 拾五冊

文久二戌年十月吉日求

代金老分也

135 燕石雜誌 六冊

元治元乙丑年二月日求之

代金老分二朱也

130 龜山話 拾冊

同年同月同日

136 秀雅百人一首 巻冊

慶応三卯年二月吉日

代金老朱也

137 列女百人一首 巻冊

同年同月

代金老朱也

◇138 奇人百人一首 巻冊

巨禅僧より貰ウ

139 一休禅師一代記 絵入／五冊（一文字不明）

慶応三卯年二月

代金老分老朱也

140 大伴金道忠孝図会 前編五冊／後編六冊

慶応三卯年七月吉日求

141 大岡政誉談 三拾冊

代金老両也

同年同月同日求

142 石見武勇伝 前編二十五冊／後編二十五冊

代金式両也

明治参午年正月廿一日求

143 宮本／佐々木 武勇伝 前編二十冊／後編二十冊

代金老両也

明治二巳年四月廿八日求

144 増補仙台萩 二拾四冊

代金式分也

明治四辛未年十二月十五日

三しま市ケ原堤屋ニて求

浄

145 仮名手本忠臣蔵 揃／巻冊

◇146 倭仮名在原系図 全／巻冊

嘉永六丑年九月求代老百也

147 小野道風青柳硯 同／巻冊

◇148妹背山婦女庭訓 同／老冊

149清和源氏十五段 同／老冊

150義仲勲功記 同／老冊

151恋娘昔八丈 同／老冊

◇152常盤御前／熊野御前 姫小松子日の遊 老冊

◇153内助手柄澁 老冊

154三浦大助紅梅豹 作者 長谷川千四／文耕堂 老冊

◇155大友／兼道 真鳥 老冊

156ひらかな盛衰記 老冊

157菅蒲前操弦 老冊

158比良御陣雪拵形 老冊

159軍法富士見西行 老冊

160荻萱桑門筑紫轅 老冊

161伊勢平氏年々鑑 老冊

162奇せ本 大卷／八冊

◇163先代萩／御廨段 抜本／老冊

164伊賀越八ツ目／岡崎雪降之段 同／老冊

165繪本太功記七ツ目／孫市切腹段／同十段目／尼ヶ崎之段 同／全卷
老冊

166阿漕浦平治住家之段 同／老冊

167菅原伝授手習鑑 全本／老冊

168赤澤山伊東伝記 老冊全

169一ノ谷嗽軍記 新式也／通本／老冊

安政六未とし／三月吉日求

〈二行抹消〉

常盤津

戯作

◇170積恋雪関扉 貳冊

178近世怪談霜夜星 種彦著／五冊

◇171四十八手恋所訳 壹冊

179南総里見八犬伝 曲亭馬琴篇
初編 五冊

172花吹雪富士菅笠 壹冊

貳編 五冊

◇173倭仮名色七文字／桃太郎 合巻／壹冊

三編 五冊

174常盤津色々／奇せ写本 大巻／壹冊

四編 五冊

175同奇せ本 小本／一冊

五編 五冊

◇176勢津（一文字不明）屋に／西行東下 都之段／牡丹（一文字不明）

六編 六冊

同品川之段 合巻／壹冊

七編 七冊

◇177（数文字不明）八百屋お七／鈴ヶ森之段／同居宅之段／同道行之段

八編 十冊

合巻／壹冊

九編 六冊

拾編 七冊

拾壹編 五冊

拾貳編 五冊

拾三編 五冊

拾四編 五冊

拾五編 五冊

拾六編 五冊

拾七編 五冊

拾八編 五冊

拾九編 五冊

〱百六冊 全

安政六丑とし四月求

代金四両也

180 東海道中／膝栗毛 十返舎一九著／拾八冊

181 岐蘇道中／膝栗毛 同作／貳拾五冊

〱四拾三冊

182 雲妙間雨夜月 曲亭馬琴著／五冊

183 巨／勢 金岡名技伝 優二館主人著／六冊

184 斯波遠説七長臣 江戸 梅暮里谷嶽著／六冊

185 浅間嶽面影草紙 柳亭種彦著 前編／後編 八冊全

◇186 開路提挑灯 壹冊

187 三月おせん 南僊笑楚滴人著／六冊

◇188 日高川 式亭三馬著／貳冊

189 青砥藤網模綾案 曲亭馬琴著／五冊

190 復／響 奇談稚枝鳩 同／五冊

191 新累解脱物語 同／五冊

嘉永七寅とし二月求

代金老分也

◇192 雨夜嘶 壹冊

◇193 古実今物語 三冊

◇194 傾城買四十八手 壹冊全

195 青／楼 阿蘭陀鏡 五冊

◇196 色々井連古写本 壹冊

◇197 心学いろはいましめ 壹冊

同年霜月日求

198 傾城／此糸 蘭蝶記 鼻山人著／九冊

◇206 秋色／艶麗 処女七種 為永春水作／同／廿壹冊

199 風月／花情 春告鳥 為永春水著／中本／拾五冊

同未ノ霜月廿日明神宮祭礼之せつ求代之（一文字不明）者嚴秘録ニ
記ス

200 松竹梅／壺前栽 多氣競 江北 三亭春馬著／中本／拾五冊

万延元申ノ年八月一日 絞花志六卷 五百ニテ下本に遣ス

◇201 紅絞／続編 紅花志 中本六冊

207 春色籬之梅 同作／拾五冊

安政三丑年霜月日求之
万延元申年八月一日下本ニ遣ス

安政七庚申年正月二日求
代金式朱

202 向顔／相見 其小唄恋情紫 為永春水／拾五冊

208 春曉八幡佳年 同作／全本拾五冊
安政七申年正月下旬求

同四年四月求

代銀六匁五分

203 孝女／貞婦 娜真都翳喜 為永春水作／拾貳冊

209 吉原仮宅／雑談日記 天之浮橋 全部／六冊

同年同月日

安政七申年閏三月中旬求

204 秋雨はなし 同／六冊

閏三月朔日年号万延元年ト改元アリ
代金尅朱也

同断

210 齒の朝顔 中本／拾八冊

205 伊達／模様 錦廻桂 松亭金水作／同／拾貳冊

文久三亥年四月吉日求

代銀拾匁

219 信田妖手白猿牽 曲亭馬琴著／三冊

211 妖狐後日譚 繪草紙／拾冊（一文字不明）

慶応三卯年二月吉日求

代金老分老朱也

◇220 一休狂歌問答 老冊

◇221 うきよことわざくさ 十返舎一九著／老冊

繪草紙

◇222 店紋緒連弾 三亭春馬著／三冊

212 小栗一代記 全／貳冊

◇223 孖算女行烈 市川団十郎作 三冊

◇213 二十四孝面抄 同／老冊

◇224 小脇差夢の蝶鮫 柳亭種彦著／貳冊

214 雪明常盤松 十返舎一九著／貳冊

◇225 小稲／半兵衛 花筏月浮船 式亭三馬作／貳冊

◇215 音羽／丹七 女郎花喻栗嶋 柳亭種彦著／貳冊

◇226 紅白菊蝶の曲舞 柳泉亭種正作／貳冊

216 八幡太郎一代記 美図垣笑顔著／三冊

◇227 誹風柳多留 貳冊

◇217 復讐妹背山物語 山東京山作／老冊

◇228 道戯百人一首 老冊

◇218 敵討白鳥関 曲亭馬琴／老冊

◇229 忠臣再講釈 貳冊

◇230上州機筆綾錦 柳亭種彦著／三冊

241同六編 同／四冊

◇231昔模様娘評判記 山東京山作／三冊

242同拾壹編 同／貳冊

232殺生石後日怪談 曲亭主人作／貳冊

243画本柳樽 拾八冊

◇233出世娘 端本／壹冊

◇244類題狂句柳の露 壹冊

◇234源氏山源次郎 端本／壹冊

◇245地口絵手本 壹冊

◇235金神長五郎忠孝話 同／壹冊

246智恵海謎くらべ 壹冊

236絵本通俗三国志 同／壹冊

247蜀山人狂歌図会 壹冊

◇237太平記剣巻 同／壹冊

248度々一総まくり／度々一図会／三新度々一／吉原度々一 四冊

◇238弁慶状武勇封 同／壹冊

◇249ちよほくれちよんがれ 貳冊

◇239伊勢参大和路 壹冊全

250おほつえふし 三篇／壹冊

240傾城水滸伝五編 曲亭主人著／三冊

学書

251 前集／古文真宝余師 四冊

後集 四冊

八冊

此代金老分式朱也

嘉永三戌年八月吉日求之

252 後集／古文真宝 貳冊

253 四書 拾冊

◇254 唐詩選余師 絶句／三冊

◇255 唐詩選 読本／參冊

律迄揃〈二文字不明〉

256 庭訓往来 習本大字 壹冊

◇257 庭訓往来 中字読本／老冊

◇258 同板名付本 老冊

259 古状揃 老冊

260 同 老冊

◇261 実語教／童子教 余師 老冊

◇262 同読本 老冊

◇263 孝經童子訓余師 老冊

◇264 長／雄 春風帖 老冊

265 經典余師 老冊

266 御成敗式目 大清書／老冊

◇267 画引分韻便覽 老冊

268 諸国書状指 同板／老冊／老冊

269 四書仮名付 後藤点平かな附／四冊

270 孟子仮名附 老冊

◇271 改正四書字引 老冊

282 庭訓往来 中字／老冊

◇272 大成正字通 箱入 一冊

◇283 節用集大全 老冊

◇273 同 老冊

◇284 古本／諸学色々仮名附本 老冊

◇274 カナツケ／傍訓千字文 老冊

◇285 仮名附／千字文 小本／老冊

◇275 萬世百人一種 老冊

286 唐詩選 仮名付小本／三冊

◇276 御代之腹鼓／心学和合歌 合巻／老冊

安政二卯年三月日求／銀六匁五分

◇277 小野篁歌字尽 かな附／老冊

◇287 五體千字文 老冊
安政五年四月日求

◇278 平かな附／龍田詣 老冊

288 教／訓 女小学 手本向／折本／老

279 平かな附／商売往来 老冊

万延二酉年 〈虫損〉月吉辰求之
代金貳朱也

◇280 平かな附／百姓往来 老冊

◇289 講釈付／百人一首 老冊

281 童子古状揃大成 小本／老冊

文久二戌年四月吉日求
代三百也

◇290 古状揃 老冊

文久三亥年二月吉日求

代錢貳百也

◇297 一銀廿匁三分

此金壹分壹朱／百五十五

万延元申年

四月上旬沼津宿

竹彦二而出来

◇291 庭訓往来 よみ本／古本 老冊

慶応三卯年三月吉日

代金壹分也〈数文字不明〉

色々伝授秘法之部

◇292 同断 老冊

〈虫損〉年四月

代金貳朱也

◇298 新編塵劫記 老冊

◇299 算法雜集記 老冊

軸物注文覽

300 算術伝法記 老冊

◇293 一 銀六匁 三右先生筆／老幅

◇301 雜書大全以呂波引 老冊

◇294 一 同九匁 多竹女／〈二文字不明〉／梅通 三幅

◇302 妙薬方書拔 老冊

◇295 一 同五匁 西馬筆／老幅

303 将棊図巧 式冊

◇296 一 同三分 半切裏打／画老枚

◇304 将棊秘密箱 老冊

◇305 将基組 壹冊

◇306 花火秘伝書 壹冊

◇307 まじなへの伝 壹冊

◇308 諸ノ民 秘伝重宝記 一

◇309 男女一代八卦 壹冊

310 珍術万宝全書 六冊

万延元年申年六月上旬吉日日本浦ニ而求ノ代七百文

311 妙薬博物筌 七冊

万延元申年ノ六月下旬吉日家ニ而求

代金式壹朱也

〈軸物の購入記録らしき物あるが略す〉

◇312 浦里ノ時次郎 妻重雪の曙 中冊ノ三冊

代金式朱也

万延元申年ノ五月十五日求

代金式朱也

◇314 春色千里契 三冊

万延元申年七月一日求

代金式朱也

◇315 春色 九冊

文久二戌年四月吉日求

代銀四匁五部

密書之部

◇316 ひらかな新六行ノ道行旅路の嫁入 忠臣蔵 壹冊

◇317 艶道ノ通言 文のゆきかひ 壹冊

◇318 秘伝見立様門 壹冊

◇319 吉ノ原 大雑書 壹冊

313 真情春雨衣 同ノ九冊

◇320五色之外 老冊

◇321玉のあそび 小本／老冊

◇322浮世難かた 老冊

◇323教訓女才学 老冊

覚

一金貳兩二分也 木柄脇差作

嘉永七とし／三月吉日求

一金一兩二分也 其角嵐雪の書

安政三辰とし／四月吉日

一金一兩也 不二之画 表具一幅

安政五年とし／正月

一金二朱也 繪地 梅室之筆

万延元甲年閏三月中旬求

一金老兩三分貳朱也 木柄脇差

弘化三丙午年五月吉日求之

一金二分也 清作木柄 脇差（一文字不明） 但し小柄とも

万延元申年十二月吉日

一金老分一朱也 雲客之筆 雪中

一同三朱也 道彦之筆

一同老分老朱也 乙二之筆

一同老分老朱也 雪俗之筆 雪中

右四軸

文久二戌年十一月吉日求

〈識語〉

嘉永七甲寅年

閏七月吉日改之

豆陽伊豆佐野村

滝の入 勝俣花岳／山人〔印〕

②明治三年目録

（表紙）

<p>明治三庚午年 閏十月吉良日 万覚書 豆州佐野村 勝俣清作書</p>
--

覚

三島久保町之加木屋之徳次郎より御貰
「荒川一代記 老冊

慶応三卯年 百也

◇古戦場耆組討 同

慶応二虎年百五十也

絵本太功記 〃

慶応四年 百五十

同 武者兵林 〃

中丸にて貰

〇画本三国誌伝 〃

慶応卯年百五十

◇武者百人図会 〃

（注記一行抹消）

◇坊太良仇討 〃

慶応三年五十也

8 雲切仁左衛門 老冊

慶応四辰年五十也

9 仇討崇禪寺馬場 同

寺之こせんに貫

10 尼子十勇志 〃

慶応二年百五十也

11 伊達黒白 〃

12 義経一代記 〃

明治二巳年二百也

13 曾我の仇討 〃

中丸にて貫

14 傀儡太平記 〃

〈数文字不明〉二百

◇15 楠公一代記 式冊

慶応二年三百也

◇16 義経軍功記 同

慶応二年三百也

◇17 平井権八一代記 〃

慶応四辰年四百

18 慶安泰平記 〃

慶応四辰年十一月四百也

◇19 戸田武勇伝 〃

〈注記一行抹消〉

20 西国女仇討 〃

五人男名々伝かせん組討参冊に取かへ物

慶応二年三百也

21 神道徳二良 〃

明治二巳年四百也

◇22 松前屋物語 式冊

明治二巳年四百三十二也

28 小栗一代記 同

明治二巳年十一月代錢四百六十四也

29 箱根山蹇の仇討 "

慶応四年 百也

◇30 大石十八ヶ條 老冊

◇31 絵本忠臣蔵 "

慶応四年百也

◇32 日蓮一代記 "

慶応四年 五十也

◇33 焼香場説切 "

慶応四年 五十也

◇34 豊臣年代昇 "

明治二巳年 百也

30 同朝鮮征伐 "

内に有

◇31 同勇士鑑 "

"

◇32 鎌倉勇士鑑 "

"

◇33 平家勇士鑑 "

三島久保町鍵屋徳二郎に貰

◇34 宇とぶ物語 六冊

慶応三年 四百

35 将門一代記 二冊

慶応四年 二百

36 二千年袖鑑 老冊

慶応四年二百也

◇37 武具二千年袖鑑 老冊

中丸にて貰

◇38 小野篁歌字尽 六冊

寺のこせんに貫

◇39 雑具大合戦 壹冊

明治二巳年十一月 七百五十文

◇40 加藤一代記 三冊

明治三庚午年 閏十月中八冊

代錢老ノ八百四十六文

◇41 角力本

明治二巳年

◇42 子供本 壹冊ノ二百五十

明治三年閏十月廿一日 二百也

43 伊賀越仇討 貳冊

明治三年八月 代錢二百三十二也

44 岩見一代記 三冊目

明治二巳年十一月 百五十也

◇45 百妙譚 壹冊

明治二巳年十一月

◇46 手じな早指南 同

元治二丑年 百五十也

47 天竺徳兵衛一代記 同

慶応四辰年 百五十

◇48 搔刀図会

明治三庚午年十月二十日 二百五十也

49 浅ちが原仇討 同

慶応四辰年十二月 百五十

◇50 人情綴合紀ノ国 同

明治二巳年四月 二百三十二也

◇51 佐野志加蔵一代記 壹冊

明治三年十月十八日 二百五十也

52 岩見重太良 壹冊目

明治三午年閏十月十日 二百五十也

53同 式冊目

明治二己巳年四月十八日 代金壹兩也

54宮本佐々木武勇伝 四十冊

明治三庚午年正月廿日 代金三兩也

55岩見武勇伝 五十冊

明治二己巳年正月 百也

◇56百姓往来 壹冊

明治三庚午年閏十月廿七日 代錢壹匁文

◇57年代記絵抄 同

〈二行抹消〉

明治三午年十一月十六日 代錢百五十也

◇58山水絵手本 壹冊

明治三午年十一月十八日

三嶋明神之時求之 代錢四百六十(一文字不明)

59辻うら大津 壹冊

同時 代錢四百三十二也

◇60高木折右衛門豪傑伝 式冊

◇61成田利生記 式冊

明治三庚午年十一月廿七日三嶋久保町にて求 代錢五百五十也

◇62柳生一代記 壹冊

明治三午年十二月六日 市ヶ原二而求

代錢參百也

◇63大石十八ヶ條 式冊

久保丁木屋ニテ

同月同日一目求 代錢五百也

64東方朔秘伝置文 壹冊

明治三午年十二月十五日求

久保丁木屋ニテ 代錢四百五十也

◇65御年玉

同年同月同日 同丁同屋

代錢百二十四也

66 西行一代記 老冊

明治三庚午年十二月廿四日
木長にて求 代錢八百也

◇67 角力取組

明治四辛未年正月二日求
代錢二百也

◇68 なぞすくし

同年同月同日求 錢百也

69 養生手引草 三冊

明治四辛未年正月廿三日木町にて求 代錢七百五十也

70 実語教

同年同月同日同屋にて求
代錢六百五十也

◇71 角力取組

同年同月同日同屋にて求る
代錢五百也

◇72 一天作 老冊

明治四辛未年二月九日
三嶋木長にて求 代錢
老々四百

73 西国女仇討 貳冊

明治四辛未年三月六日
三嶋久保町木長にて求代錢五百也

◇74 曆日講釈 老冊

明治四辛未年三月十四日
三しま久保丁木長にて求代錢四百三十二也

◇75 勢刀一代記 老冊

明治四辛未年
四月廿四日明神（一文字不明）の時木長にて求 代錢二也

76 吉原百人切

同年同月同日同錢にて求る 百五十也

◇77 桜宗吾一代実記 貳冊

明治四辛未年五月八日

みしま久保町木長にて求 代錢五百五十也

78 岩見重太良実記 四冊目

明治四辛未年五月十六日

三しま久保町木長にて求

代錢二百六十四也

◇79 天下茶屋替の仇討 二冊

明治四年六月七日木長にて求 代錢五百也

80 寿福三世相 壹冊

明治四年六月廿五日

市ヶ原さかひ屋にて求 代錢四百也

◇81 大日本改正全図

明治四辛未年十月廿一日

三しま久保町木長にて求

代錢壹ノ參十也

◇82 道楽寺阿房陀羅經 三冊

同年同月同日同やにて求 代錢三百也

◇83 武勇競 老冊

明治四辛未年霜月十五日三しま久保町の木長にて求 代錢五百也

◇84 おもしろ地口 壹冊

同年同月同日同丁同屋にて求 代錢百五十也

◇85 甲越川中嶋戦記 老冊

同年同月同日同丁同屋にて求 代錢百三十二也

此本古也

◇86 列国武勇競 二冊

明治四年霜月十九日

三しま明神様にて求

代錢五百也

◇87 西洋五体伊呂波

明治四年霜月廿九日

三しま久保町木長にて求 代錢壹朱ト百五十也

88 織田名士鑑 合卷ノ三冊也

明治四年師走七日求

代錢二百五十也

◇89 猿蟹の合戦

明治四年同月同日求 代銭六百也

90 増補仙台萩 廿四冊

明治四年師走十五日三しま市ケ原堤屋にて求

代金貳分也

◇91 三しま市ケ原堤屋にて求 壹冊

明治五壬申年春陽ころ

三しま久保丁木長にて求

代銭四百五十也

92 堀部安兵衛一代記 貳冊

明治五年正月六日

三しま市ケ原堤屋にて求

代銭五百也

93 勇臣 英名百雄伝 壹冊

明治五申年二月晦日相州藤澤にて求

代銭九百文

◇94 官許銅版 早字引集 一名御一新字引 壹冊

明治五申年二月十五日三島市ケ原堤屋にて求
代金貳分下銭三百也

◇95 新令字類 壹冊

同年三月六日 三島市ケ原堤屋にて求

代金三分也

此ノ二冊ノ字引

ヲトサンが求者也

梅二郎ニ遺ス

◇96 山崎大合戦〈数文字不明〉 壹冊

〈三行抹消〉

◇97 直柴軍功記 壹冊

明治五申年三月十日三しま市ケ原堤屋にて求

代銭二百也

◇98 正月七日〈一文字不明〉 都鄙新聞 三冊

明治五申年三月廿六日

同宿同屋にて求

代銭九百也

88 寿福二世相大鏡 全

同年同日同宿同町同屋にて求

此代拾三匁五分

◇100 せつきやう 小栗判官 四冊

明治五申年五月十七日

三しま久保丁木長にて求 代錢四百也

101 稲木武者助乗合

同年同月同日同宿同屋にて求

代錢二百也

梅二郎二遣ス

◇102 への項ミセケチ 倭国字西洋文庫 初編二編四冊

同年同月同日同宿同

屋にて求代錢老々二百也

◇103 説経さい文 三莊太夫物語 十八 二十一より廿四迄 五冊

明治五申年六月十日

三しま市ケ原堤屋にて求

代錢八百五拾也

◇104 への項ミセケチ 御誓文 御宸翰 老冊

明治五壬申年七月十五日三しま市ケ原堤屋にて求

代錢百五十也

105 史略 皇國 老冊

同年同月同日同町同屋にて求

代錢老貫也

106 史略 西洋 老冊

同年同月同日同町同屋にて求

代金三朱ト二百五十也

107 史略 支那 老冊

同年同月同日同町同屋にて求

代錢老々也

108 への項ミセケチ 太政官日誌 大本老冊

同年九月晦日同町同屋にて求

代金三朱

109 九月より 日要新聞 三冊

同年同月同日求

代錢七百五十也

110五経

同年同月四月沼津にて求

代金壹兩貳分貳朱也

111国史略 五冊

明治五壬申年

九月大安日三しま市ヶ原堀屋にて求

代金兩二分三朱也

112三字経 壹冊

同年同月同屋にて求

代錢四百三十二也

113史略 西洋 壹冊

明治五申年八月吉日

三しま市ヶ原堀屋にて求 代錢拾六匁

114慶応四年分 太政官日誌 三冊

同年同月十二日同町同宿にて求

代金貳分壹朱卜錢六百也

115前継也 同日誌 四冊

明治第五申年菊月廿一日同屋にて求

代金三分壹朱卜錢二百七十五也

116養生一言草 全壹冊

同年同月同日同町同屋にて求

代錢五百也

◇117十二月帖 二冊

同年同月同日同屋にて求

代金貳分より二匁引也

◇118日要新聞 壹冊

同年同月同屋にて求

代錢二百五十也

119太政官日誌 継／二冊

明治五壬申年十月朔日三島市ヶ原堀屋にて求

代金壹分貳朱卜錢四百也

120国郡訓記 全

同年同月同日同宿同町同屋にて求

代金三朱

◇121 日要新聞 九月分／四冊

同年同月同日同屋にて求

代錢壹〇也

122 西洋新書 初号／貳冊

同年同月廿二日三しま市ケ原堺屋にて求

代金貳分也

123 地方調法記 老冊

同年同月同日三しま市ケ原堺屋にて求

代錢壹〇也

124 八月分 太政官日誌 継／老冊

同年霜月吉日三しま市ケ原堺屋にて求

代金三朱ト錢貳百也

125 地学事始 初編／三冊

同年同月同日三しま市ケ原町堺屋にて求

代金壹分三朱也

126 西洋新書 貳号／貳冊

同年霜月十六日三しま明神様ノ時沼津本源ニ文字不明ノ致し候上
ふるヲ求

代金壹分壹朱也

◇127 足柄新聞第一號

同年同月廿日三しま市ケ原堺屋にて求

代錢貳百也

◇128 増補名乗字引 老冊

同年同月十三日同屋ニにて求

代錢四百五十也

◇129 皇朝海内輿地圖 全

同年同月同日同屋にて求

代錢五百也

130 かたわ娘 老冊

明治六年一月五日同町同屋にて求

代錢貳百五十也

131 改曆辨 全

同年同月同日同町同屋にて求

代錢三百五十也

前二書セシ家にて求

代金二分也

132 大東宝鑑

明治六癸酉年一月十三日

同宿同町同屋にて求

代錢拾匁

135 東海道名所図会 六冊

同年同月同日同屋にて求

代金三分也

133 説経心得草 貳冊

明治六酉年同月同日同屋にて求む 下本二遺ス

代錢九匁五分

138 都名所図会 拾老冊

同年同月同日同屋にて求

代金老兩老分也

134 和漢武者相撲 四冊

同年同月同日同屋にて求

代錢老貫文

◇139 無窮曆 老枚紙

同年同月同日同屋にて求

代錢三百五拾文

135 小栗説経さい文 当之

明治六癸酉年一月吉日求

此代金老分二朱ト二百也

◇140 国豊富士の麓 老冊

同年同月十三日同屋にて求

代錢八匁五分

141 和漢孝子蒙求 全

136 瓜生氏日本国尽 三冊

明治六癸酉年三月三十日

明治六癸酉年四月十五日

豆陽三嶋市ケ原にて求

代錢老（一文字不明）七百也

142 御誓文大意 全

同年同月同日同丁同屋にて求

代錢老ノ七百也

◇143 歷朝尊號 全

同年同月廿日三嶋市ケ原丁堺屋にて求

代錢百六拾七文

◇144 季號 全

同年同月同日同丁同屋にて求

代銀老九分

145 詩礎玉振 貳冊

明治六癸酉四月廿日沼津にて求

代金貳朱也

◇146 詩語金声 貳冊

同年同月同日同宿にて求

代金貳朱也

◇147 西洋新書三編 貳冊

同年五月四日同屋にて求

代金貳分ト老匁也

◇148 愛知新聞 三十九號ノ附録

同年五月四日同屋にて求

代銀三匁也

149 十八史略 大本ノ七冊

同年五月十一日三嶋宿市ケ原丁堺屋にて求

代金老兩貳分二朱也

◇150 究理童子教 貳冊

明治六癸酉年六月一日同屋にて求

代金老分三朱也

151 智恵の環 貳冊

明治六年六月一日同屋にて求

代金十匁也

152 智恵秤 老冊

同年同月同日同屋にて求

式笈

158 漢楚軍談 十三冊

◇155 慶弘紀聞／附今日鈔 四冊

同年同月十日同屋にて求

明治六癸酉年五月五日同屋にて求
代金老分老朱ト〇百也

代金老圓

◇159 皇朝戰略編 十五冊

154 童蒙をしへ草 貳編／貳冊

同年同月十日同屋にて求

明治六癸酉年九月五日

三しま市ヶ原町堺屋にて求

代金老分式朱也

代価老兩三銖也

155 童蒙をしへ草 初編／三冊

同年六月廿三日同屋にて求

160 近世史略 三冊

同年同月同日同屋にて求

代金三分也

代価三分三朱也

156 せかい国つくし 三冊

同年四月廿三日求同屋にて

161 内国史略 四冊

同年九月廿六日同屋にて求

代金老圓廿朱

代価三分三朱也

◇157 洋算早学 全

同年同月同日同屋にて求

162 尺讀新裁 貳冊

同年十月七日同屋にて求

代金三朱也

代金老分老朱也

163 西洋新書 四編／貳冊

同年十月十日同屋ニ而求
代金貳分

164 啓蒙智恵乃環 三冊

同年同月同屋ニ而求

代価壹分卜三百五十也

165 皇朝史略 十五冊

同年同月同屋ニ而求

代金貳兩二分也

166 國史字類 全

同年同月同屋ニ而求

代金貳朱卜〇百也

◇167 元明史略 四冊

同年九月廿日同屋ニ而求

代金三分三朱也

◇168 教近道 全

明治六癸酉年同屋ニ而求

代銀六匁五分

◇169 扶桑三史字 全

同年同月同屋ニ而求

代銀七匁五分

170 日本外史 十貳冊

同年同月同屋ニ而求

代金貳兩三分也

惣ノ三拾六兩三分貳朱卜〇四百七也

171 雨窓紀聞 貳冊

同年十一月三日同屋ニ而求

代銀廿五匁

◇172 女童教草 全

同年同月同屋ニ而求

代銀七匁五分

◇173 日用往来 全

明治第六十一月三日同屋ニ而求

代銀十貳匁

◇174 國詩史略 貳冊

明治第六十二年十二月廿六日同屋ニ而求

古本ニ而

代金老分卜〇三百也

175 増統大広益会玉篇大全 目錄共拾貳冊

明治七甲辰年一月三嶋久保丁茂喜ニ而求

代価貳圓貳分也

175 日本外史字引

明治七甲戌年一月廿七日

同屋ニ而求

代価三銖也

180 日本政記 八冊

明治甲戌年四月東京須原屋ニ而求

代価老圓貳分貳朱也

176 蟬丸一代記 拾冊

明治七甲戌年一月廿七日

同屋ニ而求

代価老分壹銖也

181 新撰姓氏錄 四冊

同年同月東京同屋ニ而求

代価貳分老朱卜〇三百七十五也

◇177 板史略 貳冊

明治七甲戌年一月廿七日同屋ニ而求

代金三分也

182 保元大記 貳冊

同年同月同都同屋ニ而求

代金貳朱也

183 童子通 老冊

同年同月同都同屋ニ而求

代価貳朱也

178 日本国尽 北陸道分ノ一

明治七甲戌年一月廿七日同屋ニ而求

代銀九匁五分

184 言葉の玉緒 七冊

同年同月同都同屋ニ而求

代価貳分貳朱也

185消息文例 貳冊

同年同月同都同屋ニ而求

代価壹分也

◇186ひも鑑 壹折

同年同月同都ニ而求

代価三錢

◇187園圃之拔菜 貳冊

同年同月同都同屋ニ而求

代価三銖ト〇百貳壹十五也

◇188皇朝靖献遺言 三冊

同年同月三日同屋ニて求

代価銀貳拾五匁五分

◇189銅板和漢年契 壹冊

同年四月吉日同屋ニて求

代価壹分ト〇三百

190瓜生氏日本國尽 六冊目

同年五月廿日同屋ニ而求

代銀十五匁

191同本 七八式冊

同年同月同日同屋ニ而求

代銀廿五匁也

是工九五ヲ掛也

192同本 四冊目

明治七甲戌年五月廿日三しま堺屋ニ而求

代銀十五匁也

193山陽詩鈔 四冊

同年同月沼津ニ而求

代金貳分壹朱也

194近世紀聞 初篇三冊

同年同月三しま同屋ニ而求

代金貳分也

此所壹匁引也

195 国史纂論 五冊

明治七年七月六日三嶋宿市ケ原丁堺屋ニ而求

代金老阿三銖也

同年同月同屋ニ而求

代金老分二朱卜

〇式百八十也

196 日本百将伝 十二冊

同年同月同屋ニ而求

代金式阿式銖也

201 習字大全 同

同年同月同屋ニ而求

代金老分老朱也

197 四声正韻字林 大全

明治七甲戌年八月日

堺屋ニ而求

代金老阿三銖也

◇202 年中神拝略記 老冊

明治七甲戌年十一月十五日

堺屋ニ而求

代銀六匁

198 兵要日本地理小誌

明治七甲戌年八月日堺屋ニ而

代金三分式朱也

203 古本／早引人物古事談 式冊

明治七甲戌年十一月日

沼津ニ而求

代金老分老銖也

199 古訓古事記 三冊

明治七甲戌年九月日同屋ニ而求

代価金(ママ)

204 古本／春秋左氏伝 合巻／五冊

同年同月同日

三しま木(一文字不明)ニ而求

代金式分式朱也

200 小学校授業次第 四冊

◇205 古本／和漢年始 六冊

同年十一月廿九日三嶋ニ而求

代金壹分壹銖也

206 本朝文粹 合卷七冊

同年十一月日沼津ニ而求本浦也

代金貳分也

207 銃戰記談 四冊

同年十一月十六日沼津ニ而求

代金貳朱也

208 近世奇跡考 五冊

同年同月同日同所ニ而求

同式朱也

209 玄同放言 六冊

同年同月同日同所ニ而求

同式朱也

210 風俗文選註解 四冊

同年同月同日同所ニ而求

代金壹分也

211 頭書古今和歌集 八冊

同年同月同日同所ニ而求

代金三分壹銖也

212 俳偕古今抄 五冊

同年同月同日同所ニ而求

代金貳朱也

213 瓜生日本国尽 式（一文字不明）／十六冊

明治七年十一月廿日三しまニ而求

代金三兩壹分ト〇五百文

214 文章軌範評林 合卷／七冊

明治七甲戌年十二月十四日三嶋市夕原丁堺屋ニ而求

代金壹兩壹分也

◇215 日／本 地名字引 壹冊

同年同月同日同宿同町同屋ニ而求

代価（△△）

同年十一月四日常盤屋ニテ

216 薄葉刷一葉集 三冊

代金三分三朱也

同

◇217 増補七部集 二冊

代金老分老銖也

同

218 人物古事 二冊

代金老分老銖也

同

◇219 俳諧仮名遣 老冊

代金老銖也

同

◇220 皇朝仮字三体 折本ノ一

代金老銖也

同年同月同日本源にて

221 提醒奇談 五冊

代金老分三朱也

同年十一月十二日 本浦ニテ求

◇222 三復記 二冊

代金三銖也

明治八乙亥年

二月十九日

◇223 増補布令字辨 老冊

代金老分式銖也

同二十五日又マツ擁萬堂ニ而求

◇224 俳諧袖珍鈔 十三冊

是は本ヶ原香雲堂方にて合本二冊ニなし（ニ文字不明）候

代金老分ト式百文

同年三月五日又マツ本源にて求

225 冠辞考 十冊

代金老円式銖也

同年四月二十三日おなしく

225 駿河国風土哥 二冊

代金廿七錢

同家にて

232 外国史略 四冊

代金八十一錢式五毛

同 おなしく

◇227 国史字類統編 一冊

代金貳銖也

右同断

233 伊豆地理往来 壹冊

代金壹分也

同 ミシマ市ヶ原堺屋にて

228 近世記聞 三冊

代金五十錢也

同年五月日本浦にて

234 内国史略後編 二冊

代金壹分壹銖也

同 同家にて

229 近世事情 七冊

代金貳円三朱也

同

◇235 内国史略前編 四冊

代金三分式銖也

同家にて 日本

230 啓蒙外史 全部／三十五冊

代金四円廿五錢二十五毛

同

236 速成帖 三冊

代金壹分式銖也

同家にて

◇231 改正読本 四冊

代金三十錢

同年八月七日堺屋にて

237 小学読本 一冊

代金八錢五毛

同年八月堺屋ニテ

238 王代一覽 拾四冊

代金五円五十錢也

同年同月本源ニテ

239 博物筌 大仕立／小 老冊

代金廿三錢

同年同月又マツニテ

240 隨齋諧話 貳冊

代金拾八錢

同年十二月

241 近世記聞 三四五六迄都合／八冊

代金老円六十錢也

明治九丙子年

二月三日又マツ本源にて

242 西洋史略 二冊

代金廿一錢

同 本浦ニテ

243 和訓栞 二十四冊

代金貳円也

同家ニテ

244 周遊奇談 五冊之所／合卷／老冊

代金二十錢也

同年六月二十一日堺屋ニテ

245 近世記聞 七編／二冊

代金五十二錢四毛

同年六月二十一日堺屋ニテ

◇246 大全普通 貳冊

代金五十四錢

同年六月二十四日同家ニテ

◇247 広益正字通 老冊

代金六十五錢五毛

同年七月七日同家ニテ

◇248 文部読本

代金六錢五毛

同年同断

249 啓蒙国史略 拾冊

代金

同日同断

250 標註十八史略 七冊

代金

同七月七日日本浦ニテ

◇251 唐宋詩語玉屑 五冊

代金老分老朱也

同日同断

252 筆算題叢 貳冊

代金老分式朱也

同日同断

253 北越雪譜 七冊

代金五十錢

同日同断

254 理齋隨筆 六冊

代金四拾錢也

九月廿日

同日 本源ニテ

255 統々皇朝史略 五冊

代金七拾錢

同日本浦ニ而

◇256 武將感狀記 拾冊

代金五十五錢

同日同断

257 牛馬問 四冊

代金十錢

同日ヌマツ擁萬堂ニテ

258 梧窓漫筆 六冊

代金老円廿五錢

同日同家ニテ

259 楠木志 五冊

代金八十錢

明治十丁丑年

代金拾壹錢也

同日同家ニテ

260 雨窓閑話 三冊

代金廿五錢

二月廿八日堺屋ニテ

◇265 三書合本 壹冊

代金壹円九十錢也

同日同家ニテ

261 広益秘事大全 五冊

代金廿錢

同日 同家ニテ

◇266 大全漢語字類 壹冊

代金五十錢也

同日堺屋ニテ

◇262 筆算大叢 六編／貳冊

代金三十錢

同日同家ニテ

267 近世記聞 八編／三冊

代金五十錢也

同年十一月廿三日

263 続十八史略

代金壹円七十五錢

同三月十三日沼津本源ニテ

◇268 輿地誌略 合本／壹冊

代金七十五錢也

同木瀬川ニテ

◇264 古人人名録 壹冊

同日同家ニテ

269 兵要日本地理 小本／壹冊

代金三十五錢也

同日同家ニテ

270 同断字引 小本／巻冊

代金廿錢也

同日本浦ニテ

271 国史略 五冊

代金壹円五十錢也

四月十一日本浦ニテ

272 大岡政蕃談拔書

代金廿錢也 貳冊

七月十九日 擁萬堂ニテ

273 和漢合類節用 拾三冊

代金壹円八十錢

同日本浦ニテ

274 閑田耕筆 四冊

代金廿七錢五毛

八月十日関屋ニテ

275 文章軌範

代金

同日

276 同断字引 貳冊

代金三十八錢也

同日同家ニテ

◇277 作文 小本／巻冊

代金三十錢也

同八月十八日 (数文字不)ニテ

278 史記評林 全部

代金

同日同家ニテ

◇279 (書名記載なし) 中本／貳冊

代金三十錢也

同 中 (一文字不明)ニテ

280 八大家文

代金三円也

明治十一年関屋二而

◇281 明治孝節録 四冊

代金九拾錢

同 関屋二而

282 節用集 壹冊

代六拾錢

明治十年

283 名家文章 三冊

代金五拾錢

明治十一年

関屋二而

◇284 続日本外史 六冊

代金一円六拾五錢

六月廿五日関屋二而

◇285 助善詩文 貳冊

代二拾錢

明治十二年

十二月吉日沼津二而

286 続近世文体 三冊

代金五十錢

同年同夜二而

287 方正学文辞 四冊

価金七拾錢

同年同二而

288 啓蒙養生訓 五帙

価金参拾貳錢

同年同夜二而

◇289 今世文鈔 四帙

価金九拾錢

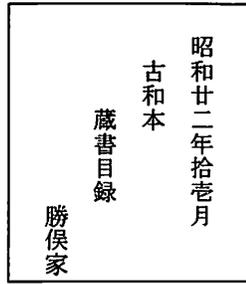
同年同夜二而

290 明治名譽略伝 式帙

価金貳拾二銭

③ 昭和二十二年目録

〈表紙〉



〈本文〉

昭和二十二年十一月調べ

稗史小説 外類似書

◆1 馬琴 昔語質屋庫 五冊 同類書 二部アリ 文化七年版

嘉2 繪本通俗三國志 七十五冊

嘉3 繪山龜山話 十冊

◆4 大和物語 二冊

◆5 近松門左衛門 浦嶋一代記 五冊

〈以下略〉

◆6 松風村雨 九冊

嘉7 和州非人敵討実録 五冊 宝曆四年

嘉8 源氏一統志 十冊 嘉永三年

嘉9 柳亭種彦 霜夜の星 五冊 文化十年

◆10 蟬丸伝記半月夜話 前后十冊

嘉11 繪本忠臣蔵 前后十冊

嘉12 繪本曾我物語 十冊

嘉13 馬琴著 北斎画 新累解脱物語 五冊

嘉14 武家女鑑 六冊 寛政丙辰

- 嘉5南総里見八犬伝 百六冊
- ◆16八宗起原 釈迦実録 五冊
- ◆17馬琴 占夢南柯後記 十冊
- 嘉18前々太平記 合十七冊
- ◆19新編水滸伝 八冊
- 嘉20奥平復讐実録 五冊
- 嘉21大岡仁政実録 一ヨリ十 合五冊
- ◆22南柯夢 笠屋半七節操全伝 七冊
- ◆23絵本甲越軍記 十冊
- 明24尼子十勇士伝 三冊
- ◆25松亭金水重信画 日本百将伝一夕話
- ◆◇26因果物語 上下 一冊
- 嘉27前太平記 七冊
- 嘉28巨勢金岡 名技伝 六冊 文化五年
- 嘉29曲亭主人 雲妙間雨夜月 五冊
- 嘉30青楼阿蘭陀鏡 五冊 寛政十年
- ◆31青砥藤綱本伝 五冊
- 嘉32柳亭種彦 浅間岳面影草紙(執着譚) 八冊 文化九年
- ◆33山崎成美 赤穂義士一夕話 五冊
- ◆34寛政箱崎文库 五冊
- ◆35増補柳荒美談 三冊
- 嘉36実録大久保武蔵鑑 二冊
- ◆37北越美談金沢実記 二冊
- ◆38佐倉義民伝 二冊
- ◆39佐賀怪猫伝 三冊
- ◆40大岡仁政録 二冊
- ◆41大塩平八郎実録 二冊
- ◆42石井明道士 二冊
- 嘉43関東古戦録 十冊
- 明44通俗漢楚軍談 十三冊
- 嘉45太平記 四十卷合廿一冊
- 嘉46大伴金道忠孝凶会 前后十冊 嘉永己酉
- ◆47異国奇談和莊兵衛 四卷合 安政三年
- 嘉48曲亭翁 豊国画 復讐奇譚 稚枝鳩 五冊
- ◆49通俗呉越軍談 十八卷十冊
- 嘉50二日月お仙
- 嘉51鼻山人 傾城蘭蝶記 九冊 文化
- 嘉52春晓八幡佳年 十八冊
- 嘉53平亭銀鶏 天の浮橋 六冊
- ◆54女好庵主人 春情心のたけ 九冊
- 嘉55松亭金水 紋染の朝顔(園の朝貌) 十八冊
- 明56忠亭種彦 広重画 西行一代記
- 嘉57絵本年代一覽
- 明58仮名垣魯文 芳幾画 傀儡太平記 上下

- 嘉◇59 山東京伝 傾城買四十八手 寛政二年
- ◆60 鼻山人 契情意味張月 六冊 寛政六年
- 嘉61 為永春水 玉都羽喜 十二冊
- 嘉62 松亭金水 伊達模様 錦の桂(ウチカケ) 十二冊 天保八年
- 嘉63 為永春水 春色籬の梅 十二冊
- 嘉64 為永春水 雪月花情 春告鳥 十五冊
- 嘉65 全人 其小唄 恋情紫(ヒヨクノムラサキ) 十二冊
- 嘉66 三亭春馬 多気競べ 十五冊
- ◆67 まるのやくく子戯作 秋雨夜話 三冊
- ◆68 曲亭馬琴 敵討うらみくずの葉
- 嘉69 春情春雨衣 三冊
- ◆70 岩井物語 上巻合四冊
- ◆71 越前福井仇討義勇伝 五冊
- 嘉72 梅花亭著 芳晴画 一休禪師一代記図繪 五冊 安政三年
- 嘉73 馬琴 芳盛画 三国妖狐后日物語
- 嘉74 十返舎 膝栗毛 前后四十三冊
- 嘉75 一休はなし 三冊
- ◆76 靈狐奇談 小倉色紙
- ◆77 大川仁政録 四冊
- ◆78 源平盛衰記 二十四冊
- ◆79 関太郎鈴鹿古語 三冊
- ◆80 殉難後草 前草 遺草 遺草 拾遺 四冊
- ◆81 曲亭主人 朝夷巡嶋記全伝 四十一冊 嘉永辛亥
- 明82 繪本三国誌伝 一冊 嘉永三年
- ◆83 東鑑 四十卷
- ◆84 梅亭漁夫 繪本日吉丸
- 嘉85 前太平記 二冊
- 嘉86 諸国奇談漫遊記 五冊合 二編
- ◆87 河間亭 身延道中滑稽華の鹿毛 一冊
- 嘉88 大河内秀元 朝鮮物語 三冊 嘉永二年
- ◆89 絵入竹取物語 二冊 天明四年
- 嘉90 赤穂精儀内侍所 抜書 十二冊 写本
- ◆91 伊勢物語 写本 延享四年
- 嘉92 八百屋お七実録 二冊 写本
- 嘉93 大久保武蔵鑑 三十卷 十五冊 写本
- 嘉94 太閤記 三百五十冊 写本
- 嘉95 真田三代記 百五十冊 写本
- 嘉96 石山軍記 四十五冊 全
- 嘉97 厭触太平楽記 十五冊 写本
- 嘉98 鎌倉見聞誌 五十冊 写本
- ◆99 大岡美談 三冊 写本
- 嘉100 但石実記 三十冊 写本
- 嘉101 朝鮮征伐記 四十二冊 写本
- 嘉102 下村正実記 十冊 写本

- 嘉103 関ヶ原軍記 三十二冊 写本
- 嘉104 天草軍記 一から九迄 合七冊 写本
- ◆105 観延政命談 十二冊 写本
- 嘉106 皿屋敷敵秘録 十五卷 写本
- 嘉107 大岡政替談 三十冊 写本
- 嘉108 岩城実記 十五卷 写本
- ◆109 参考保元平治 十七卷六冊 写本
- 嘉110 頼光一代実記 三十卷十冊 写本
- 嘉111 増補仙代萩 二十四冊 写本
- ◆112 慶元關戰記 三十八冊 写本
- 嘉113 島津琉球軍精記 三十一卷六冊 写本
- ◆114 敵討田前豪傑伝 五冊 写本
- 嘉115 豊臣鎮西軍記 三十卷十五冊 写本
- 明116 天下茶屋敵討正伝記 三十卷合二冊 写本
- 嘉117 北野実記 二十五冊 写本
- 嘉118 石見武勇伝 二十冊 写本
- 嘉119 宮本佐々木英雄美談 四十冊 写本
- ◆120 悪狐三国伝 二冊 写本
- ◆121 天草軍記 四冊 写本
- ◆122 加州家士敵討 全 写本
- ◆123 奥州女敵討実録 全 写本
- ◆124 慶安太平記 一ヨリ二十迄 合四冊 別書十二冊 写本
- 嘉125 祐天記 五冊 写本
- ◆126 梅暮里谷峨 大岡名誉録 二冊 写本
- 嘉127 斯波遠説七長臣
- ◆128 曲亭主人 夢想兵衛胡蝶物語 前后九冊
- 明129 武将感状記 拾冊
- ◆130 佳人の奇遇 十六冊
- ◆131 善悪業報因縁集 二冊
- ◆132 岩井実記 二冊
- 随筆 外 類似書類
- ◆133 柳亭種彦 用捨箱 三冊 別ニ全書アリ 天保十二年
- ◆134 近世奇人談 続 五冊
- 嘉135 彦磨 嘉多比沙志 前后六冊 万延二年
- 嘉136 棧(掛橋)物語 一ヨリ五合 享和二年
- ◆137 異名分類鈔 寛政六年
- ◆138 南嶺先生 秋斎問語 三冊
- 明139 随斎諸話 三冊
- 嘉140 国枝清軒 武辺咄聞書 三冊
- 明141 北越雪譜 七冊
- ◆142 教訓亭 閑窓瑣談 四冊
- ◆143 尾崎雅嘉 群書一覽 六冊
- ◆144 東海木曾道中懷宝図 天明六年

- ◆145阿部正信 駿国雜誌 四十卷
- ◆146松井与兵衛 帝国道中記
- ◆147伊豆の海
- ◆148つれづれの讃 宝永辛卯
- ◆149奇説著聞集 二冊
- ◆150保建大記 二冊
- ◆151中江藤樹 翁問答 五冊
- ◆152山崎成美 提醒紀談 五冊
- ◆153孝経楼漫筆 四冊
- ◆154河童相伝 胡瓜道 二冊
- ◆155古人評伝 早引人物故事 二冊 享和二年
- ◆156秋斎南嶺遺稿 四冊
- ◆157本居宣長 うゐの山踏 寛政十年
- ◆158梅園雑話 安政七年
- ◆159单朴 不断用心記
- ◆160比奈の佐へ豆理 二冊
- ◆161遠里先生 居行子 五冊 明和九年
- ◆162身延道之記標題
- ◆163宮川舍漫筆 五冊 安政五年
- ◆164雨窓問話 三冊 嘉永庚戌
- ◆165安政風聞誌 三冊
- ◆166安政風聞集 三冊
- ◆167春湊浪話 三冊
- ◆168沢庵和尚 玲瓏隨筆 四冊
- ◆169木工亭主人 太平樂皇国性質 二冊
- ◆170をだまき大成 二冊 元禄七年
- ◆171物類称呼 一ヨリ五 安永四年
- ◆172伊豆地理往来
- ◆173東遊記 五冊
- ◆174西遊記 十冊
- ◆175豆州志稿 十冊
- ◆176樗園 銃戰紀談 四冊 文久己亥
- ◆177梅園日記 五冊 天保甲辰
- ◆178蓑笠翁 燕石雜誌 六冊 文化七年
- ◆179三河風土記 一ヨリ三十迄 合十四冊
- ◆180駿河風土記 二冊
- ◆181花間笑話 四冊 宝曆癸酉
- ◆182大東合邦論
- ◆183耳底記 二 同書尚外ニアリ
- ◆184鳩翁道話
- ◆185竹蔭隠士 雨窓紀聞 二冊
- ◆186随斎夏目成美 四山藁 二冊
- ◆187清水物語 二冊
- ◆188安政見聞録 三冊

- ◆199 蔭蔭先生 新著聞集 一ヨリ十八 合八冊 寛延二年
- ◆190 閑田次筆 五冊
- 明191 錦城先生 悟窓漫筆 六冊 文政五年
- ◆192 喜庵隨筆 二冊 嘉永庚戌
- ◆193 近世奇人伝 五冊 寛政二年
- ◆194 中村利質 南木誌 嘉永二年
- 嘉195 中村経年松亭 積翠閑語 四冊 安政五年
- ◆196 増訂豆州志稿 七冊
- 嘉197 扶桑皇統図繪 十三冊
- 明198 馬琴 玄同放言 五冊 全書外ニモアリ
- ◆199 柳庵雜筆 四冊 嘉永
- ◆200 閑田文章 享和三
- 明201 新井白蛾 牛馬問 四冊 宝曆五
- 明202 理齋隨筆 六冊 文政七年
- ◆203 蜀山人 南畝莠言 二冊
- ◆204 松亭漫筆 二冊 天保六年
- ◆205 山崎成美 世事百談 四冊 天保十二年
- ◆206 全人 三養雜記 四冊 天保十一年
- ◆207 東京繁昌記 二冊
- ◆208 江戸繁昌記 天保三年
- 嘉209 肝要工風録
- ◆210 人名像伝 二冊
- 明211 東方朔秘伝 置文
- ◆◇212 東方朔風雨記
- ◆◇213 關提老翁辻談義
- 嘉214 妙薬博物筌 七冊 文政六年
- ◆215 百めぐり
- 明216 東方朔秘伝置文
- 明◇217 お年玉
- ◆218 百家奇行伝 四冊
- 明219 福沢諭吉 啓蒙養生訓 五冊
- ◆220 西洋事情 十一冊
- ◆221 四娟主人 浮世名所図会 二冊
- ◆222 倭漢事始 十二卷合六冊
- 明223 山田大角 近世事情 寛政元年ヨリ明治一年迄
- 明224 近世紀聞 二十四冊
- ◆225 古今著聞集 一ヨリ二十迄 合四冊
- 嘉226 諸国奇談 西遊記 五冊
- ◆227 三河風土記 四十五卷
- ◆228 和国たはむれ草 天明元年
- ◆229 英烈遺事 二冊
- ◆230 道春 本朝神社考 六卷三冊
- ◆◇231 かげの花
- 明232 国郡訓義

- ◆233 平田先生 静の岩屋 二冊 文化八年
- ◆234 地方落穂集 四冊
- ◆◇235 平山紀聞 六冊
- ◆236 本居宣長 玉あられ
- ◆237 理齋先生 三省録 五冊 天保十四年
- 明238 広益秘事大全 五冊
- 明239 新撰姓氏録 四冊
- ◆240 骨董集 三冊
- ◆241 菅茶山 筆のすさび 二冊 安政三年
- ◆242 笈埃随筆 四冊
- ◆243 怪談全書 四卷二冊
- ◆244 鶏口集 二冊
- 明245 馬琴 玄同放言 (全所ニ尚アリ)
- ◆246 全 昔語質屋庫 五冊 (全別尚別ニアリ)
- ◆247 山崎成美 世事百談 (別ニ全書アリ)
- ◆248 柳里恭先生 雲萍雜誌 (別ニ尚全書アリ)
- ◆249 橘庵漫筆 五冊
- ◆250 香川景樹 中空の日記
- ◆251 銃后紀談 四冊
- ◆252 世事百談
- ◆253 岩瀬百樹 歴世女装考 四冊
- ◆254 常山紀談 一ヨリ十五 全六冊
- ◆255 柳里恭 雲萍雜誌 四冊
- ◆256 挙白集 三冊
- ◆257 厩馬新論
- ◆258 子孫宝草
- ◆259 富士谷御杖 北辺随筆 四冊
- ◆260 春暁斎速水 諸国図会 年中行事 六冊 文化三年
- ◆261 閑窓瑣談 二冊
- ◆262 東海道往来
- 明263 理齋随筆 六冊
- 明264 閑田耕筆
- ◆265 都鄙問答 四卷合二冊
- ◆266 本居宣長 菅笠日記 二冊
- ◆267 茅窓漫録 三冊
- ◆268 香川景樹 新学異見
- ◆269 骨董集 三冊 他ニ同書アリ
- ◆270 不繫舟 二冊
- ◆271 家人名録 五冊
- 嘉272 賊禁秘談 一ヨリ十 合五冊
- 嘉273 極秘伝白砂人集
- ◆274 をりをり草 四冊
- ◆275 宿屋飯盛 四方のあか 二冊
- 明276 御宸翰大意

- 明◇277明治六年 日要新聞 綴
- ◆278愚痴拾遺
- 明279醒々老人 武清先生画 近世奇跡考 五冊
- ◆280馬琴 忘雜記 にませの記 三冊
- ◆281露日記 安永六年
- ◆282馬琴 著作堂一夕話 三冊
- ◆283鳳鳴新誌
- ◆284大野太衛 近世偶論
- 明285地学事始 三冊
- 明286啓蒙養生訓 四冊
- ◆287風雅美術百花草紙 二編
- ◆288古今著聞集 二十冊
- ◆289近古正義 人名像伝 二冊
- ◆290明治新撰 駿河国誌
- 明291駿河風土歌
- ◆292当世穴さがし 一ヨリ五迄合 明和八年
- ◆293鳩翁道話 三冊
- ◆294心学道の話
- ◆295耳底記 二冊 尚別ニ全書アリ
- ◆◇296築山山水ヲ造ル法
- ◆◇297常磐の佳気
- ◆298都名所図絵 六冊
- ◆299駿台雜話 六冊
- ◆300落窪物語 三冊
- ◆301百家奇行伝 三冊
- 明302東海名所図会 六冊
- 明303都名所図会 拾巻冊
- ◆304先哲叢談 正篇八、後篇八、続篇十二卷
- ◆305木曾名所図会 六冊
- ◆306劉向說苑 六冊
- ◆307橘庵漫筆 五冊
- ◆308瓊矛余滴 三冊
- ◆◇309事代主神事蹟考 二冊
- ◆310白蔭禪師 夜船閑話
- ◆◇311菅像弁
- ◆312菜根譚
- ◆◇313曾伝の涙
- ◆◇314二種日記 (椿もうでの記)
- ◆315内外一覽 二冊
- ◆316貝原益軒 初学訓 二冊
- ◆317耳底記 二冊 外全書二部アリ
- ◆318見はてぬ夢
- ◆◇319蛮語箋
- ◆◇320斯文学会講義

明◇321年代記絵抄

◆322庭訓往来精註

◆◇323春色辰巳の園 梅曆余興 小十二冊

漢書 詩文 字典 類

◆324王陽明文粹 四冊

◆325上田元周 和漢名教大全 三冊 弘化四年

◆326蒙求字類大全 三冊

◆327山崎成美 書家必用

◆328古詩韻範 四冊

◆329作文捷徑 三冊

◆330評本絶句類選 四冊

明331明治名譽略伝 二冊

◆332山崎成美 書家錦囊

◆333小学句詠 四冊

◆334近古史談 四冊

嘉335童子古状揃 風月往来 江戸往来 消息往来 実語教 商業往来

諸職往来 世話千字文

◆335敬字文 二冊

◆337回天詩史 安政丙辰

◆338和漢名数統編 弘化四年

◆339大槻東陽 詩文良材 五冊

◆340文選字引 弘化四年

◆341瀛奎律髓 三冊

明◇342詩語金声 二冊 嘉永三年

◆343日本政記字引

◆◇344詩韻集成

嘉345増補四書字引

◆◇346諸国御役御見附御書

◆347皇朝史略字解

明348国史字類

明349四声音訓広益会玉篇

◆◇350掌中明治詩学精撰 二冊

◆351日本史記 一ヨリ十三

◆◇352謝選拾遺講議 二冊

◆353国史要略 六冊

◆354掌中詩学含英

◆355掌中明治詩学

◆356莊子 拾冊

◆357本朝文鑑 九冊

◆358保建太記 二冊

明359文章軌範 正統合六冊

◆360古文全集 三冊

◆361山陽遺稿 文 一、二 合本

- ◆362全 詩 一、二、三、四、五、六、七、合三冊
- 明363全 詩鈔 合四冊
- ◆364古文真宝 二冊
- ◆365韓非子解詁
- ◆366毛詩正文 三冊
- ◆367文選正文 八冊
- 明368内国史略 二冊
- 明369国史略
- ◆370詩經 上 礼記 二三 端本
- 明371標註 十八史略 七冊
- ◆372統 十八史略說本 五冊
- ◆373增補 合類大節用集 十二冊
- ◆374大槻磬 国史詩略 二冊
- ◆375文章軌範講解 六冊
- ◆376幼学綱要 七冊
- ◆377資治通鑑 七十八冊
- ◆378五經 十一冊
- 明379統近世文体
- ◆380名家文粹 二冊
- ◆381精註唐宋八家文 三十卷十六冊
- ◆382駿河風土記 二冊
- ◆383本朝武家評林 四十六冊 元祿十三年
- 明384内国史略 二冊
- 明385統今古名家文抄 三冊
- ◆386偶評今古名家文抄 十ヨリ二十二迄三冊
- 明387日本外史 外他掲
- ◆388古文真宝 四冊
- ◆389古文前集 三冊
- 明390統近世文体 二冊
- 明391大広益会玉篇 十二冊
- ◆392十八史略字解 三冊
- 明393春秋左氏伝 一ヨリ十
- 明394標註文章軌範評林
- ◆395皇国開国由来
- 嘉◇396新增四声節用大全
- ◆397江戸往来
- ◆398周清外史 十六冊
- ◆399唐宋八家文 二冊
- 明400古訓古事記 三冊
- 明401標註十八史略
- ◆402山陽詩解 二冊
- ◆403五經字解 三冊
- ◆404国史抜粹
- 明405外国史略

- ◆406古文孝經正文
- 嘉407御成敗式目
- 明408実語教童子教
- 明409日本政記 八冊
- 明410史略 五冊
- ◆411征討史略 六冊
- ◆412日本史記 四冊
- ◆413統皇朝史略 五冊
- 嘉414唐詩撰
- ◆415菜根譚
- 明416御誓文大意
- ◆417日本地誌略
- 明◇418扶桑三字文
- 嘉419古文全集余師 外他掲
- 明420方正学文粹 四冊
- ◆421近世祝詞文範 二冊
- 明422孝子 蒙求
- ◆423静岡県地誌 二冊
- 明424史記評林 二十四冊
- 明425国史略 五冊
- 嘉426四書 拾冊
- ◆427尺牘双魚 九卷合四冊

- 嘉428經典余師 八冊
- ◆429孟子 四冊
- 明430校正王代一覽 正統十三冊
- ◆431易經 二部 詩經 二冊
- ◆432古註千字文
- 明433啓蒙日本外史
- 明434啓蒙国史略 十冊
- ◆435論語 中庸 五冊
- ◆436春秋 二部
- ◆437礼記 四冊
- ◆438書經、孟子、 四冊
- ◆439幼学詩韻
- ◆440唐詩選国字解 三冊
- ◆441標註文選正文 十三冊
- ◆442唐宋八家文 三冊
- ◆443統詩学粹金
- ◆444本朝文粹 一ヨリ四 合七冊
- ◆445李撰文選 二冊
- ◆446世説新語補 拾冊
- 明447皇朝史略 正統 十五冊
- 明448兵要日本地理
- 嘉449孟子

- ◆450 近世偶論
- 明451 近世名家文粹 三冊
- ◆452 十八史略字引大全
- ◆453 尺牘新裁
- ◆454 小学新選童子通 三冊
- ◆455 近世皇朝史略 四冊
- 明456 国史纂論 一ヨリ十 合五冊
- ◆457 唐詩選国字解
- ◆458 詩本草
- 明459 大政官日誌 拾冊
- 嘉460 古文真宝 四卷合一冊
- ◆461 古状揃吉見蔵
- 明462 詩礎玉振 二冊
- ◆463 日本外史 四冊
- ◆464 古愚堂詩 甲集 二冊 乙集
- ◆465 近世詩文歌集 二冊
- ◆466 纂評唐宗八大家 十六冊
- ◆467 逸詩 一ヨリ十二迄 薄葉紙本合三冊
- 明468 日本外史 二十二卷十二冊
- 明469 続日本外史 十卷六冊
- 明470 春秋左氏伝 十五冊
- ◆471 日本外史前記 五冊
- ◆472 陸放翁詩鈔 四冊
- ◆473 劉向說苑 六冊
- ◆474 真山民詩集
- ◆475 春秋左氏伝 八冊
- ◆476 方正学文粹 三冊
- ◆477 網鑑易知録 四冊
- ◆478 二十二史劄記 三十六卷
- ◆479 歴史綱鑑補 二十卷
- ◆480 經史論存 十五卷
- ◆481 新選作詩大全 七冊
- ◆482 記事論說軌範
- ◆483 瀉山警策講義
- ◆484 觀海詩鈔
- ◆485 網鑑易知録 三十六卷
- ◆486 新選漢文軌範 二冊
- ◆487 国史略 四冊
- ◆488 詩経 易経
- ◆489 漢書評林 百卷
- ◆490 漢文軌範
- 明491 統国史字類
- ◆492 女庭訓御所文庫 古文揃証記 童子教 庭訓往来 全庭訓往来捷徑
実語教

◆493 幼学便覧

◆494 今世名家文鈔 四冊

◆495 正文章軌範

◆496 三体詩 三冊

◆497 明治詩学自由 三冊

◆498 皇朝靖献遺言 三冊

◆499 蒙求 五冊

◆500 近世名歌文粹 三冊

◆501 孟子 袖珍 三冊

◆502 孟子 中本

◆503 日本略子字引

◆504 今古史伝

◆505 近世偶論

◆506 新撰今古俳語

◆507 作文陸歩 五冊

◆508 行書字彙 五冊

◆509 作文軌範 二冊

◆510 和漢文章作例 二冊

◆511 輿地誌略

歌。俳。国文。等

◆512 和歌八重垣 七冊 元禄十三年

◆513 名家題砂子 三冊 嘉永四年

◆514 開化人名録 明治九年

◆515 増補所名集 二冊 文化七年

◆516 現存名家俳諧大要 六百題

◆517 俳諧古選 宝曆十三年

◆518 言笛集 天保九年

◆519 発句五百題

◆520 俳諧十七ヶ条

◆521 白隠禪師 仮名菴

◆522 近世名家詩文

◆523 俳材三人名牒 文化九年

◆524 かこひ栗集 嘉永亥年

◆525 明治発句俳諧博物選

◆526 和歌二関スル雑書 十数冊

◆527 新編いろは字典

◆528 日用弁覧

◆529 尚古仮字用格

◆530 了伴 おもひよる日 弘化四年

◆531 大久保忠保 雅言葉

嘉永32 俳諧節用さざれ貝 文久二年

◆533 真珠庵如水 俳諧重宝燭火打

◆534 改正月令博物筌 四冊

- ◆555 蕉風正風俳諧季寄早合点 宝曆壬午年
- 嘉556 節用木の葉籠 文政八年
- ◆557 花鳥曆
- ◆558 高井蘭山 俳諧節用集 二冊 文政六年
- 嘉◇559 芭蕉七部集 薄葉紙本 天保十五年
- 嘉560 四季部類俳諧歳事記葉草
- ◆561 成美句集 文政丙戌年
- 嘉562 芭蕉翁句集 嘉永庚戌年
- ◆◇563 俳諧四季部類
- ◆◇564 俳諧季寄大全 享和二年
- 嘉565 松の屋主人 消息文例 二冊 寛政十二年
- 嘉566 笠亭編 俳諧図会 嘉永六年
- ◆◇567 一勇斎国芳画 俳諧名勝図絵
- ◆568 歌集 三冊
- ◆569 水壺 安政発句六百題 安政四年
- ◆570 春湖 俳諧作例集 二冊
- 嘉571 増補改正俳諧歳時記葉草 五冊 嘉永四年
- ◆572 国芳豊国画 英雄百人一首 嘉永二年
- ◆573 川柳輯 国輝画 俳人百人一首
- 嘉574 秀雅百人一首
- ◆575 百人一首女訓抄 嘉永二年
- ◆576 雅語譯解
- ◆◇577 俳諧百人一首家選
- ◆578 風雅の枝折
- ◆◇579 岡の屋家集 二冊
- ◆580 歌辞要解 二冊 文化三年
- ◆581 俳諧眺山集
- ◆582 俳諧新式 元禄十一年
- ◆583 詞瓊綸 三冊
- ◆584 増補和歌題林集
- ◆◇585 芭蕉翁合体二十五条
- ◆586 貞享式海印録 六冊
- 嘉587 古人五百題 二冊
- ◆588 俳諧五百題 二冊
- ◆589 古今俳諧五百題 一冊
- ◆◇570 俳諧秘事 一冊 元禄十三年
- ◆571 統七部集 二冊 寛政七年
- 嘉572 俳諧海内人名録 二冊 万延元年
- ◆◇573 鳴立庵追福集
- ◆574 亀齡集 二冊
- ◆575 俳諧手提灯 写本 三冊 文政十年
- ◆576 俳諧啓蒙伝 写本
- ◆577 鸛眼集 写本
- ◆578 俳諧所名集 二冊 文化六年

- ◆579 俳諧十六篇十三ヶ条 写本 文久庚申年
- ◆580 七部搜 写本
- ◆581 嵐雪発句集
- ◇582 掌中俳諧季寄
- ◆583 素丸 乞食袋 延享三年
- ◆584 今古名家百家題類集 嘉永五年
- ◆585 蝶夢和尚文集 四冊
- ◆586 籬の菊
- ◆587 七部婆心録 横本七冊
- ◆588 東華坊支考 和漢文操 九冊
- ◆589 支考 和漢百花賦
- ◆590 俳諧奇人談 三冊
- ◆591 全 続 三冊
- ◆592 無名抄 鴨長明抄 二冊 元享二二年
- ◆593 芭蕉翁句解参考 二冊
- ◆594 秋風庵文集 二冊
- ◆595 文苑玉露 文化十年
- ◆596 詞葉新雅 寛政四年
- ◆597 道歌百人一首籠の枝折 写本 弘化三年
- 明598 対福三世相大鏡 天保十一年
- ◆599 俳諧三千題早引略解 三冊
- ◆600 風俗文選 一ヨリ十迄 合七冊
- ◇601 増井戸
- ◆602 不断用心記
- ◆603 比奈さえずり 嘉永三年
- ◆604 吏登 蓼太編 報恩集
- ◆605 西馬発句集
- ◆606 俳諧開化集
- ◇607 俳諧雪の枝折 写本
- ◆608 類題春草集 安政四年
- ◇609 古今和歌初学 三冊
- ◆610 古今集遠鏡 二冊
- ◆611 和歌呉竹集 四冊
- ◇612 加茂翁類題 一冊
- ◆613 三代集類題 二冊
- ◆614 新選大和詞 二冊
- ◆615 十論為弁抄 三冊
- ◆616 字音仮名用格 安永五年
- ◆617 七部集大鏡序
- ◆618 標註七部集 二冊
- ◆619 続千鳥集
- 嘉620 雅言俗語翌松(あすならふ) 二冊
- ◆621 頭書古今集遠鏡 八冊
- ◇622 千びきのいはほ

- ◆633 俳諧みみな草
 - ◆624 亀戸千句
 - ◆635 其角発句集
 - ◆◇626 天保七部集 二冊 天保四年
 - ◆627 芭蕉翁附合集評註 二冊 文化十二年
 - ◆嘉628 芳草集 二冊 文政己丑年
 - ◆嘉629 今人附合集 天保丙申年
 - ◆630 蕉門中興俳諧一覽集
 - ◆631 花ノ下稻雄 日本名所風流千景集 十冊
 - ◆632 全稻雄 日本名所風月集 四冊
 - ◆633 永機 新華摘
 - ◆嘉◇634 俳論語集 写本 文政十年
 - ◆635 北元 紙つひゑ 文政十二年
 - ◆636 千々廼屋集 二冊
 - ◆637 雅言集覽 九冊
 - ◆638 情史抄 三冊
 - ◆◇639 雅言仮字都架比 四冊
 - ◆640 大八州詠歌邪正論
- 歌 雑書 数々
- ◆641 類題和歌鏡玉集 三冊
 - ◆642 類題草野集 一冊 別書 前掲
 - ◆643 頭書古今和歌集遠鏡 二冊
 - ◆644 類題採芳集 一冊
 - ◆645 東京銀坐小誌 天保十四年
 - ◆646 先進繡像玉石雜誌 前后 十四冊
 - ◆◇647 詠歌自在
 - ◆648 ちぢの屋集
 - ◆649 日本書画人名辞典 附名家家談 六冊
 - ◆650 日本書画人名辞書 一冊
 - ◆◇651 和歌うゐまなび
 - ◆652 統英雄百人一首
 - ◆明653 東都八大家戲文 二冊
 - ◆654 博物新編訳解 四冊
 - ◆655 撰集抄 西行訳 四冊
 - ◆656 玉かつま 四冊 文化九年
 - ◆657 風俗文選 三冊
 - ◆658 古今和歌六帖 六冊
 - ◆659 八景和歌 並ニ 江戸往来
 - ◆660 益軒 日本歳時記 四冊 貞享五年
 - ◆661 崑山 一掃百態
 - ◆662 俳諧十論 三冊
 - ◆663 源氏物語忍草 五冊
 - ◆664 本居宣長 玉あられ 写本

◆665古言梯

◆666加茂翁家集 五冊 享和元年

◆667万葉集略解

◆668歌俳名歌集等雜 二百余冊

◆669俳諧饒舌録 二冊

◆670蕉門俳諧師説録 二冊

◆671冬の日 貞享甲子年

◆◇672俳諧春の日 二冊

◆673俳諧芭蕉談 二冊

嘉674俳諧一串抄 二冊

嘉675鞠衣 六冊

◆676桃青翁句集 文化三年

◆677西行選集抄 二冊

明678西行一代記 並和歌 写本 二冊

◆679古今俳諧明題集 五冊 宝曆十三年

◆680雜俳書 十二冊

◆681芭蕉俳句評林 宝曆丁酉年

◆682和字大観鈔 二冊

◆683菊曾の集 三冊

嘉◇84園圃乃拔菜 二冊

◆685俳諧寂葉 三冊

◆686幽蘭集 七冊

◆687蒼虬 蓮山 鳳朗 連句 写本

◆688芭蕉 素堂 其角 仙化 蛙句合

◆689冬の日

◆690湖中編 芭蕉翁略伝 弘化二年

◆691狂文あづまなまり 二冊 文化十年

◆692仮名世説 二冊 文化八年

◆693俳諧靈鏡抄 写本

◆694をりふしの文 二冊

◆695梧一卜葉 二冊 享保十六年

◆696十題発句 天保乙未年

◆697枯尾花(芭蕉翁終焉記) 写本

◆698連二坊 露川責(露川返答) 安永六年

◆699鬼貫 俳諧独り言 二冊 正徳四年

◆700歌枕秋の寝覚 一ヨリ六 合三冊

嘉701俳諧初心抄 写本 嘉永四年

明702俳諧古今抄 五冊

◆703字陀の法師 写本

◆704蓼太 芭蕉翁句解

◆705風俗文選拾遺 二冊 天保八年

嘉706俳諧七部集 七冊

◆707俳諧近道

◆708宗祇法(一文字不明) 二十五禁俳諧貂

- ◆709 新編俳諧文集 二冊
- ◆710 俳諧鳥山彦 写本
- ◆711 近世詩文歌集
- ◆712 孟子
- 書牘
- ◆713 作文便覧 四卷合一冊
- ◆714 俳諧種御増補三人名牒
- ◆715 雅俗要文
- ◆716 季寄 薄様紙本
- ◆717 和歌名所一覽
- ◆718 歌辞要解 二冊
- ◆719 秋の屋集拾遺 二冊
- ◆720 秋の屋集
- ◆721 抱腹奇語
- ◆722 類題玉石集 一冊
- ◆723 俳諧節用集 一冊
- ◆724 新百人一首 "
- 嘉◆725 百人一首 "
- ◆726 古言梯 尚 全書別ニアリ
- ◆727 初学和歌式 二冊
- ◆728 風俗文選犬註解 七冊
- ◆729 玉かつま 十一冊
- 嘉730 言葉の玉の緒 七冊
- ◆731 詠歌集
- ◆732 みかきの花
- ◆733 同好歌集
- ◆734 大正歌集
- ◆735 後選集新抄
- ◆736 増補雅言集覽 五十七冊
- ◆737 倭訓栞 六十五卷
- ◆738 柳園詠草 二冊
- ◆739 詠歌自在
- ◆740 ぐるわ百人一首
- ◆741 東都八大家戯文 上ノ二冊 下ノ二冊 前掲
- ◆742 みくりや八景集
- ◆743 増補和歌題林抄 九冊
- ◆744 和歌布留の山踏 三冊
- ◆745 古今和歌集遠鏡 八冊 尚別ニ全書アリ
- ◆746 最明寺殿教訓百首
- ◆747 ちよ千鳥 千代の松風 千代のかをり
- ◆748 和歌名所一覽 尚全書アリ
- ◆749 明治家集
- ◆750 歌学長歌評論

- ◆◇751 道歌百首和解
- ◆◇752 歌かたり
- ◆753 穂向屋集
- ◆◇754 皇学仮字
- ◆◇755 掌中明治百歌仙
- ◆◇756 俳諧五元一覽
- ◆757 文語便蒙
- 嘉758 列女百人首
- 嘉759 秀雅百人首
- ◆760 芭蕉翁反古文 二冊
- ◆761 初学訓
- ◆762 類題草の集 十二冊
- ◆763 俳諧天尔波抄 六冊
- ◆764 和歌名所一覽
- ◆◇765 詠歌家集
- ◆◇766 甲斐根集
- ◆◇767 荻のつゆ
- ◆768 増補歌枕秋の寝覚 三冊
- ◆◇769 和歌式便覽
- ◆770 和歌布留の山踏
- ◆◇771 記事簡牘文例
- ◆◇772 桜隠集 二冊
- ◆◇773 高等作文大全
- ◆◇774 古今和歌初学 二冊
- ◆775 白蔭禪師 仮名律 坤 (乾ハ前掲)
- ◆776 和歌はま萩
- ◆777 類題草野集 合上下
- ◆778 和歌麓の塵 三冊
- ◆779 和歌呉竹集 三冊
- ◆◇780 掌中俳諧袂落
- 宗教 外 雑書
- ◆781 信力堅固鈔
- ◆782 真言浄菩提私記
- ◆783 巫学談弊 (俗神道大意) 二冊
- ◆784 室中三物秘弁
- ◆785 永平正眼藏弁註 二十六卷 合八冊
- ◆786 仏祖正伝 禅戒篇
- ◆787 談鋒資銳 二冊
- ◆788 冠註一鹹味
- ◆789 正受老人崇行録
- ◆790 正法眼蔵統絃講義 五冊
- ◆791 本教大基
- ◆792 白蔭禪師息耕録

- ◆793 宗門無尽燈論 二冊
- ◇794 抱腹奇語
- ◆795 仏教各宗綱要 五冊
- ◆796 本教要義
- ◇797 土産神徳百首
- ◆798 神宮祭神提要
- ◆799 体言真澄鏡解
- ◇800 禅林句集
- ◆801 御詠歌仮名抄
- ◆802 観音経和訓図会 三冊
- ◇803 禅林句聚
- ◇804 禅臨濟宗眼目
- ◇805 白蔭和尚自画自賛集
- ◆806 吉凶卜籤考
- ◆807 本教要義
- ◆808 諸国御詠歌老千題
- ◆809 心経止啼銭
- ◆810 日本道徳論
- ◆811 挿花独案内
- ◆812 算題叢 九冊
- ◆813 全 答式 十三冊
- ◆814 幼学綱要 七冊
- ◆815 小学習字大全
- ◆816 小学修身訓
- ◆817 小学教授書
- ◆818 習字手本
- ◆819 新選地誌
- 明820 養生一言草
- 明821 養生手引草 二冊
- ◆822 英名百雄伝
- ◆823 農業往来
- 嘉824 妙薬博物筌 七冊
- ◆825 続英雄百人一首
- ◆826 草木育種 前 后 四冊
- ◆827 人民必携 十五冊
- 明828 習字大全
- 明829 速成帖
- 明830 地方調法記
- 嘉831 女小学
- ◆832 農業全集 六冊
- ◆833 習字手本
- ◇834 忒手本
- ◆835 世界国尽
- ◆836 主従心得草

- ◆837 民間經濟錄
- 嘉83 万国新話 五冊
- 明839 小学授業次第
- ◆840 人民告諭大意
- ◆841 農家矩 三冊
- ◆842 珍術万宝全書 六冊
- ◆843 報德学齐家談 二冊
- ◆844 新選農業書
- ◇845 農政要録
- ◆846 農家益
- ◆847 農業全書
- ◆848 培養秘録 三冊
- ◆849 報德仕方
- ◆850 富国捷徑
- ◆851 外 繪本 数十冊